

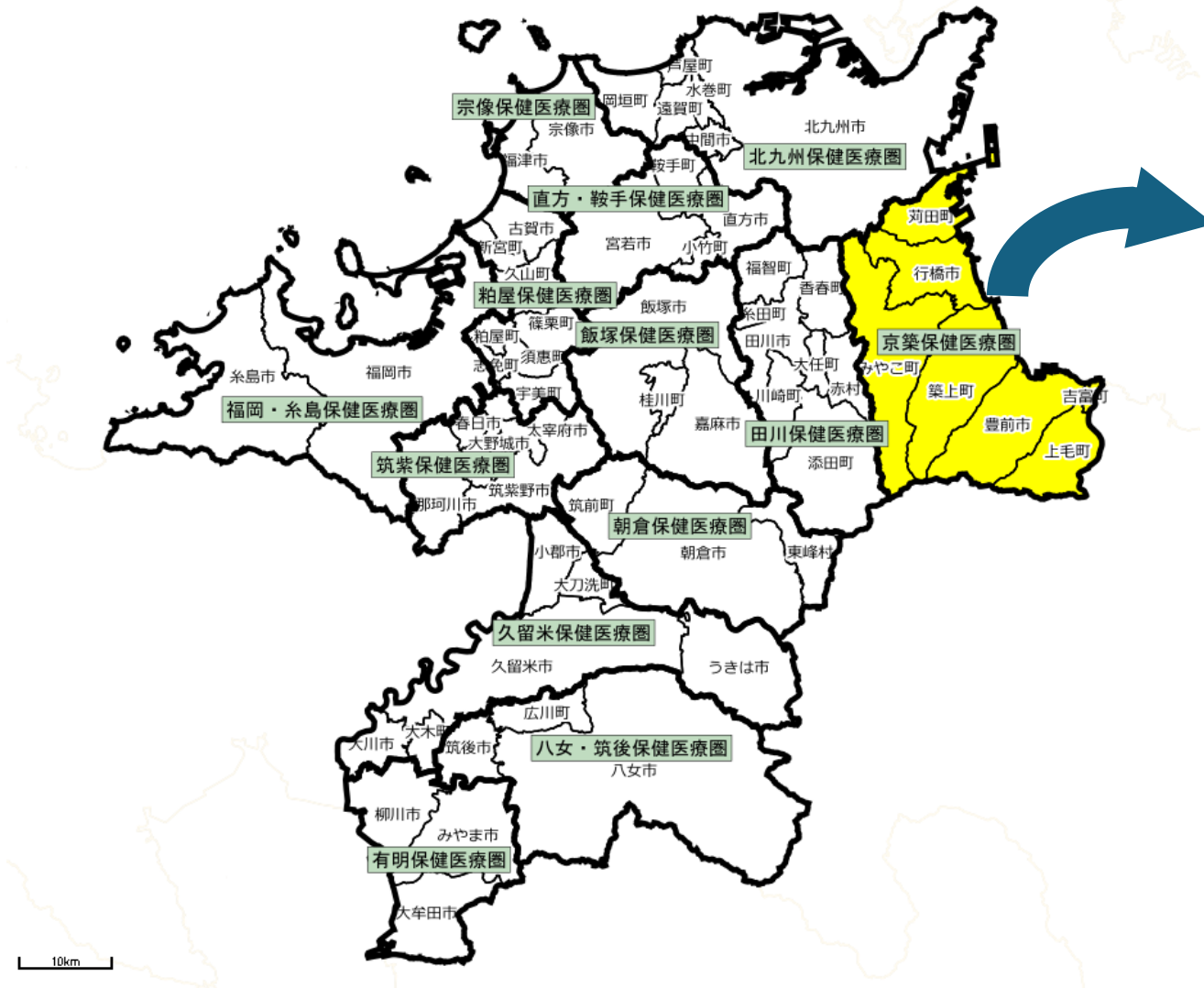
地区診断

—京築区域—

目次

1 概要	3
2 人口の状況	4
3 出生率の状況	9
4 死亡率の状況	10
5 将来推計人口の推移	11
6 市町別将来推計人口の推移	15
7 S C Rの状況	17
8 患者推計	22
9 医療従事者数〔医師〕	24
10 医療従事者数〔医師・診療科〕	26
11 医療従事者数〔常勤医師〕	28
12 医療介護資源の状況	31
13 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕	33
14 在宅医療の状況	38
15 看護職員の状況	43
16 二次医療圏の人口及び流入流出患者割合・比較表	45
17 二次救急及び急患センターの位置（隣接区域含む）	46
18 人口メッシュ（500m）	47
19 （参考）九州周防灘地域定住自立圏	48
20 救急搬送の状況	49
21 救急医療電話相談利用件数	54
22 MDC別割合	55

1. 概要



構成市町村: 2市5町

(行橋市、豊前市、苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町)

面積: 569.42km²

人口: 183,302人(令和2年国勢調査)

[うち年少人口(0~14): 23,075人(12.6%)]

[うち生産年齢人口(15~64): 98,495人(53.7%)]

[うち老年人口(65~): 58,866人(32.1%)]

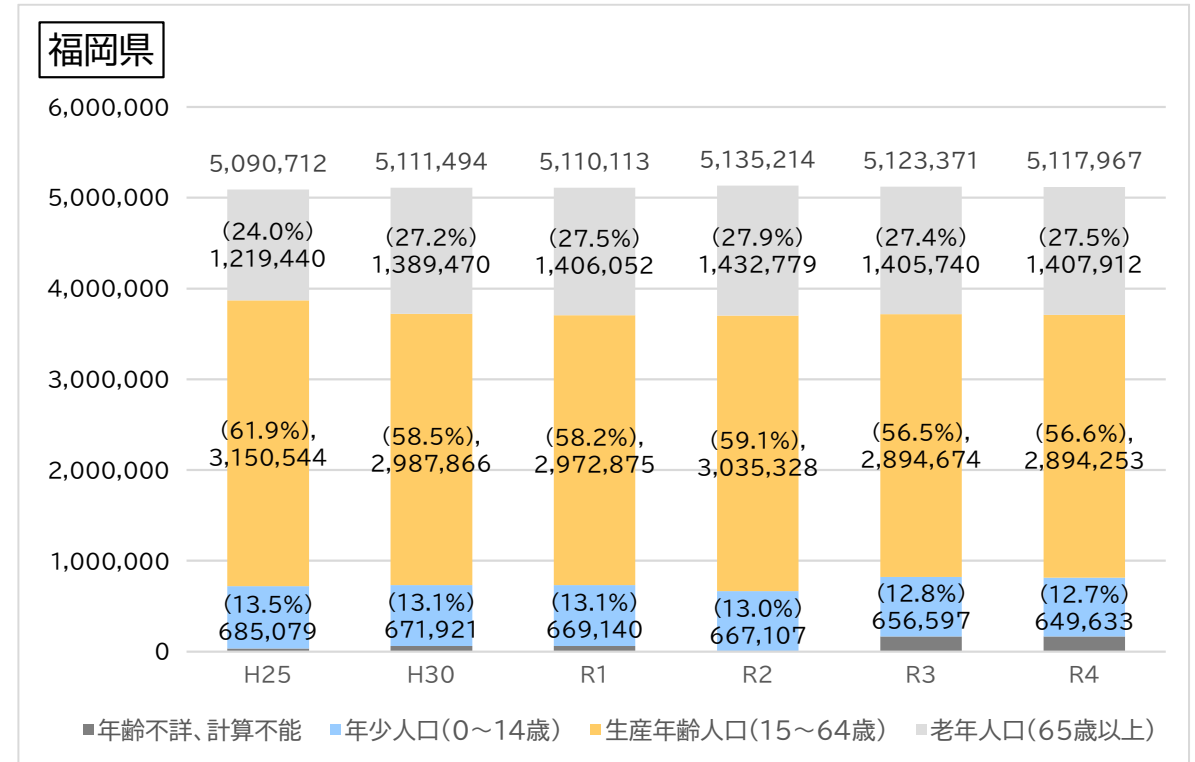
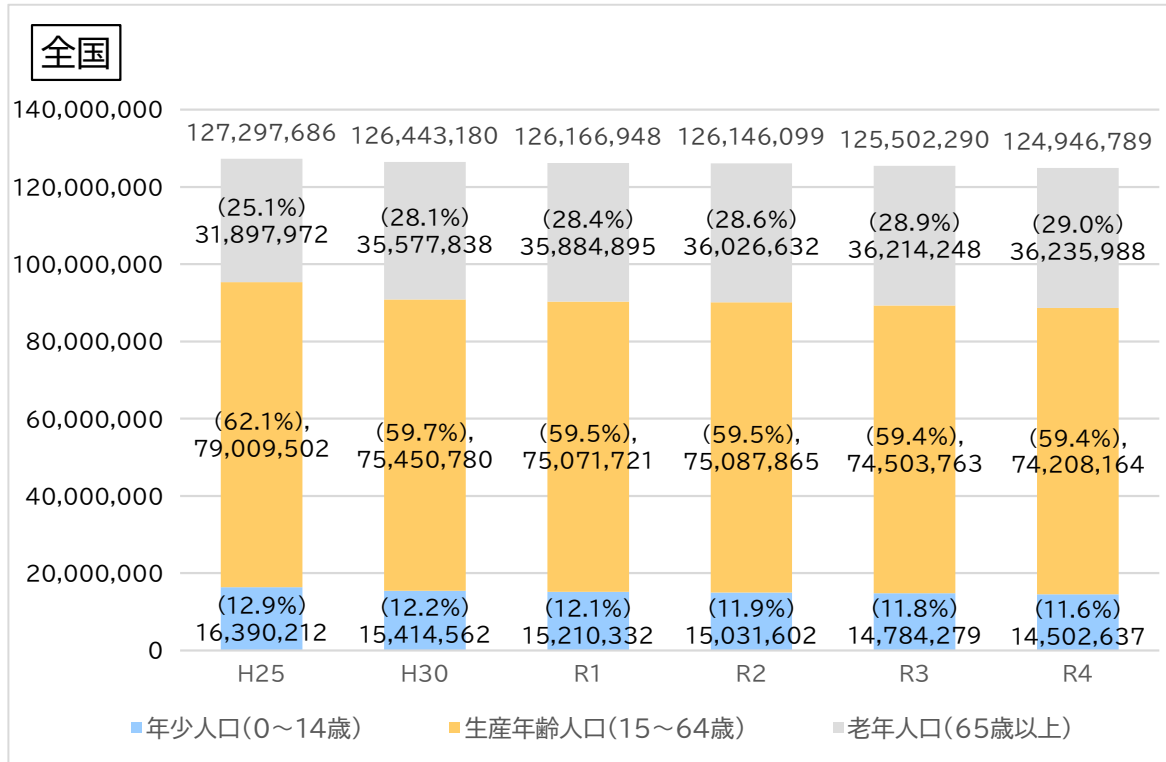
出生数: 1,168人(令和4年福岡県保健統計年報)

(人口千対: 6.5)※ 県平均7.1

死亡数: 2,576人(令和4年福岡県保健統計年報)

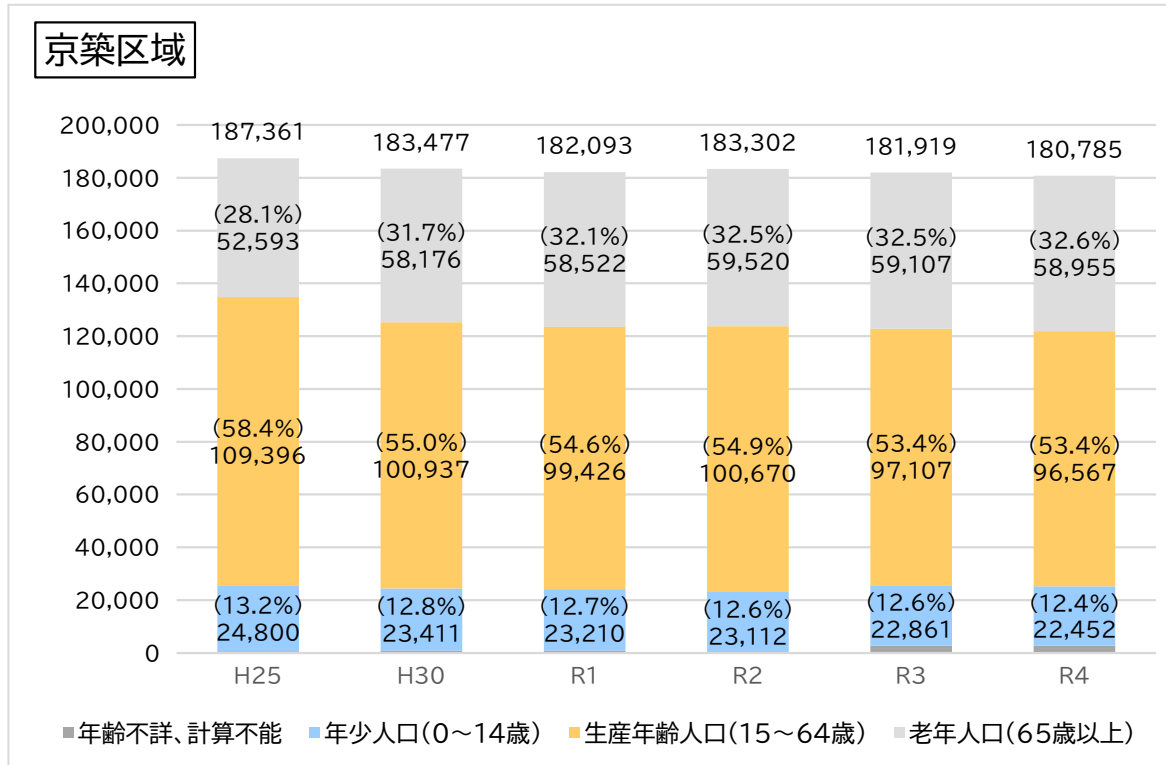
(人口千対: 14.4)※ 県平均12.2

2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)



- ・総人口について、全国は減少傾向であり、福岡県は令和2年をピークに減少していく見込み
- ・年齢3区分別人口の推移を見ると、全国、福岡県ともに、老年人口の割合は増加傾向で、生産年齢人口、年少人口は、減少傾向となっている
- ・老年人口の割合は、H25年からR4年までで、全国で3.9ポイント増加し、福岡県では、3.5ポイント増加している

2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)



- ・総人口については、減少傾向

- ・年齢3区分別人口の推移を見ると、老年人口の割合は増加傾向で、生産年齢人口、年少人口は、減少傾向となっている

- ・老年人口の割合は、30%を超えており、H25年度からR4年度までで、4.5ポイント増加している

- ・各市町の状況をもても(スライド6参照)、老年人口の割合が20%台の苅田町、40%を超えるみやこ町など、各市町で状況は様々となっている

2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)

●京築区域の各市町の状況

	H25				H30				R1				R2				R3				R4			
	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数
行橋市	9,692 (13.7%)	42,376 (60.0%)	18,462 (26.1%)	70,647	9,533 (13.4%)	40,281 (56.6%)	21,193 (29.8%)	71,168	9,535 (13.4%)	39,988 (56.2%)	21,418 (30.1%)	71,101	9,417 (13.2%)	40,160 (56.2%)	21,849 (30.6%)	71,426	9,383 (13.2%)	39,085 (54.9%)	21,773 (30.6%)	71,157	9,275 (13.1%)	39,011 (55.0%)	21,762 (30.7%)	70,958
豊前市	3,306 (12.5%)	14,592 (55.1%)	8,579 (32.4%)	26,472	2,847 (11.4%)	12,721 (50.8%)	9,181 (36.7%)	25,019	2,815 (11.4%)	12,440 (50.4%)	9,144 (37.1%)	24,666	2,825 (11.6%)	12,389 (50.8%)	9,177 (37.6%)	24,391	2,775 (11.6%)	11,938 (49.8%)	9,113 (38.0%)	23,973	2,657 (11.3%)	11,747 (49.8%)	9,056 (38.4%)	23,604
苅田町	5,179 (14.3%)	22,668 (62.4%)	8,001 (22.0%)	36,312	5,056 (13.9%)	22,007 (60.5%)	8,810 (24.2%)	36,375	5,044 (13.9%)	21,813 (60.1%)	8,925 (24.6%)	36,280	5,212 (13.8%)	23,213 (61.6%)	9,259 (24.6%)	37,684	5,212 (13.8%)	21,906 (57.9%)	8,996 (23.8%)	37,812	5,215 (13.7%)	22,115 (58.1%)	9,020 (23.7%)	38,043
みやこ町	2,267 (11.0%)	11,215 (54.3%)	7,181 (34.8%)	20,657	1,999 (10.4%)	9,397 (48.7%)	7,893 (40.9%)	19,285	1,965 (10.4%)	9,111 (48.1%)	7,865 (41.5%)	18,934	1,907 (10.1%)	9,001 (47.8%)	7,917 (42.1%)	18,825	1,868 (10.1%)	8,666 (47.0%)	7,890 (42.8%)	18,427	1,791 (9.9%)	8,452 (46.7%)	7,849 (43.4%)	18,090
吉富町	978 (14.5%)	3,905 (58.0%)	1,853 (27.5%)	6,737	910 (13.8%)	3,608 (54.9%)	2,057 (31.3%)	6,571	895 (13.7%)	3,568 (54.6%)	2,082 (31.8%)	6,540	854 (13.1%)	3,562 (54.5%)	2,120 (32.4%)	6,536	838 (12.9%)	3,531 (54.3%)	2,103 (32.4%)	6,499	852 (13.2%)	3,482 (54.0%)	2,090 (32.4%)	6,447
上毛町	1,038 (13.6%)	4,164 (54.6%)	2,424 (31.8%)	7,633	999 (13.7%)	3,716 (51.1%)	2,545 (35.0%)	7,266	993 (13.8%)	3,659 (50.7%)	2,561 (35.5%)	7,216	984 (13.6%)	3,651 (50.4%)	2,616 (36.1%)	7,251	962 (13.4%)	3,556 (49.6%)	2,650 (37.0%)	7,163	929 (13.1%)	3,508 (49.5%)	2,652 (37.5%)	7,080
築上町	2,340 (12.4%)	10,476 (55.4%)	6,093 (32.2%)	18,903	2,067 (11.6%)	9,207 (51.7%)	6,497 (36.5%)	17,793	1,963 (11.3%)	8,847 (51.0%)	6,527 (37.6%)	17,356	1,913 (11.1%)	8,694 (50.6%)	6,582 (38.3%)	17,189	1,823 (10.8%)	8,425 (49.9%)	6,582 (39.0%)	16,888	1,733 (10.5%)	8,252 (49.8%)	6,526 (39.4%)	16,563

※総数には年齢不詳、計算不能を含む

2. 人口の状況 (2020年(令和2年)「国勢調査」)

●昼夜間人口

表1) 昼間人口・夜間人口

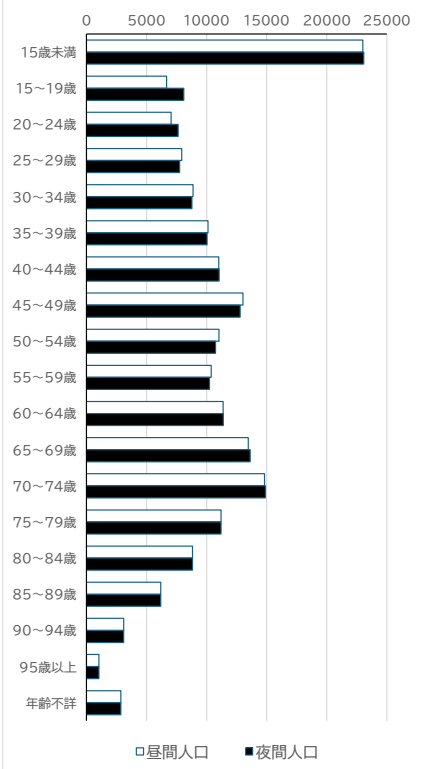


表2) 昼夜間人口比率

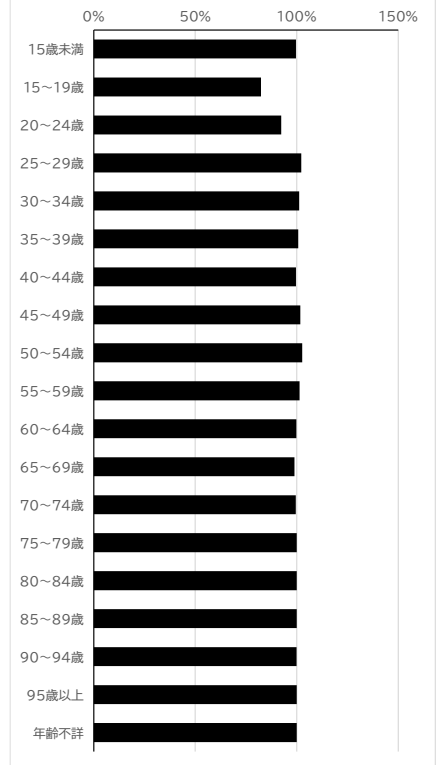


表3) 年齢別昼夜間人口

年齢	昼間人口		夜間人口		昼夜差		昼夜間人口比率	
	男	女	男	女	男	女	男	女
総数	90,530	91,409	88,733	94,569	1,797	-3,160	102.0%	96.7%
15歳未満	11,794	11,201	11,840	11,235	-46	-34	99.6%	99.7%
15～19歳	3,585	3,090	4,147	3,953	-562	-863	86.4%	78.2%
20～24歳	4,263	2,790	4,312	3,322	-49	-532	98.9%	84.0%
25～29歳	4,583	3,347	4,246	3,508	337	-161	107.9%	95.4%
30～34歳	4,958	3,918	4,545	4,224	413	-306	109.1%	92.8%
35～39歳	5,594	4,515	5,256	4,777	338	-262	106.4%	94.5%
40～44歳	5,858	5,147	5,594	5,448	264	-301	104.7%	94.5%
45～49歳	6,990	6,029	6,536	6,260	454	-231	106.9%	96.3%
50～54歳	5,733	5,292	5,283	5,455	450	-163	108.5%	97.0%
55～59歳	5,256	5,124	4,926	5,313	330	-189	106.7%	96.4%
60～64歳	5,532	5,838	5,465	5,925	67	-87	101.2%	98.5%
65～69歳	6,439	7,029	6,559	7,063	-120	-34	98.2%	99.5%
70～74歳	6,905	7,922	6,981	7,919	-76	3	98.9%	100.0%
75～79歳	4,898	6,308	4,899	6,304	-1	4	100.0%	100.1%
80～84歳	3,517	5,308	3,516	5,310	1	-2	100.0%	100.0%
85～89歳	2,024	4,158	2,026	4,159	-2	-1	99.9%	100.0%
90～94歳	740	2,353	741	2,354	-1	-1	99.9%	100.0%
95歳以上	151	884	151	884	0	0	100.0%	100.0%
年齢不詳	1,710	1,156	1,710	1,156	0	0	100.0%	100.0%

- ・昼夜間人口の差が最も大きい年代層は「15-19歳」で、通学で域外に流出しているものと思料
- ・それ以外の年代は、昼夜間人口比率が概ね100%近くになっている
- ・就業の年代(25-64)で見ると、男性は昼間人口が多く、女性は昼間人口が少ない状況となっており、男性は域外から流入し、女性は域外に流出しているものと思料

2. 人口の状況 (2020年(令和2年)「国勢調査」)

表4) 昼夜間人口比率

		計		就業者		通学者		その他	
		男	女	男	女	男	女	男	女
自地域内で 従業・通学 等	自地域内で、従業・通学	41,484	36,113	33,376	28,453	8,107	7,660	1	0
	従業も通学もしていない	25,148	41,823					25,148	41,823
	不詳	10,517	8,972	1,595	1,140	984	977	7,933	6,855
	計	77,149	86,908	34,971	29,593	9,091	8,637	33,082	48,678
流出	他地域に従業・通学	11,584	7,661	10,283	6,268	1,301	1,393	0	0
流入	他地域から従業・通学	13,381	4,501	12,922	4,252	459	249	0	0

主な流出先

【就業】

市区町村名	流出(人)	構成比	市区町村名	流出(人)	構成比
1 大分県 中津市	4,222	25.51%	1 福岡県 北九州市小倉北区	802	29.77%
2 福岡県 北九州市小倉南区	3,862	23.33%	2 福岡県 北九州市小倉南区	412	15.29%
3 福岡県 北九州市小倉北区	3,309	19.99%	3 大分県 中津市	290	10.76%
4 福岡県 北九州市門司区	709	4.28%	4 福岡県 田川市	150	5.57%
5 福岡県 北九州市八幡西区	525	3.17%	5 福岡県 北九州市八幡西区	135	5.01%

【通学】

主な流入元

【就業】

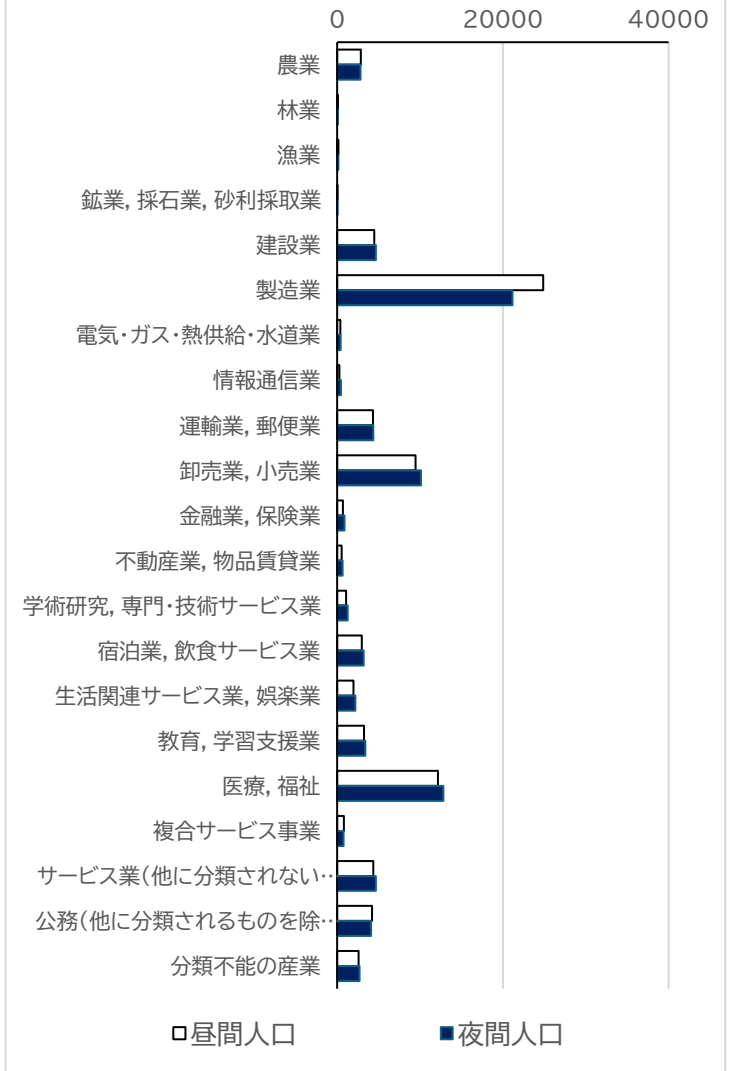
市区町村名	流入(人)	構成比	市区町村名	流入(人)	構成比
1 福岡県 北九州市小倉南区	5,728	33.35%	1 福岡県 北九州市小倉南区	253	35.73%
2 大分県 中津市	3,987	23.22%	2 福岡県 田川市	79	11.16%
3 福岡県 北九州市小倉北区	1,410	8.21%	3 福岡県 北九州市小倉北区	54	7.63%
4 福岡県 北九州市門司区	640	3.73%	4 大分県 中津市	49	6.92%
5 福岡県 田川市	638	3.71%	5 福岡県 北九州市門司区	26	3.67%

【通学】

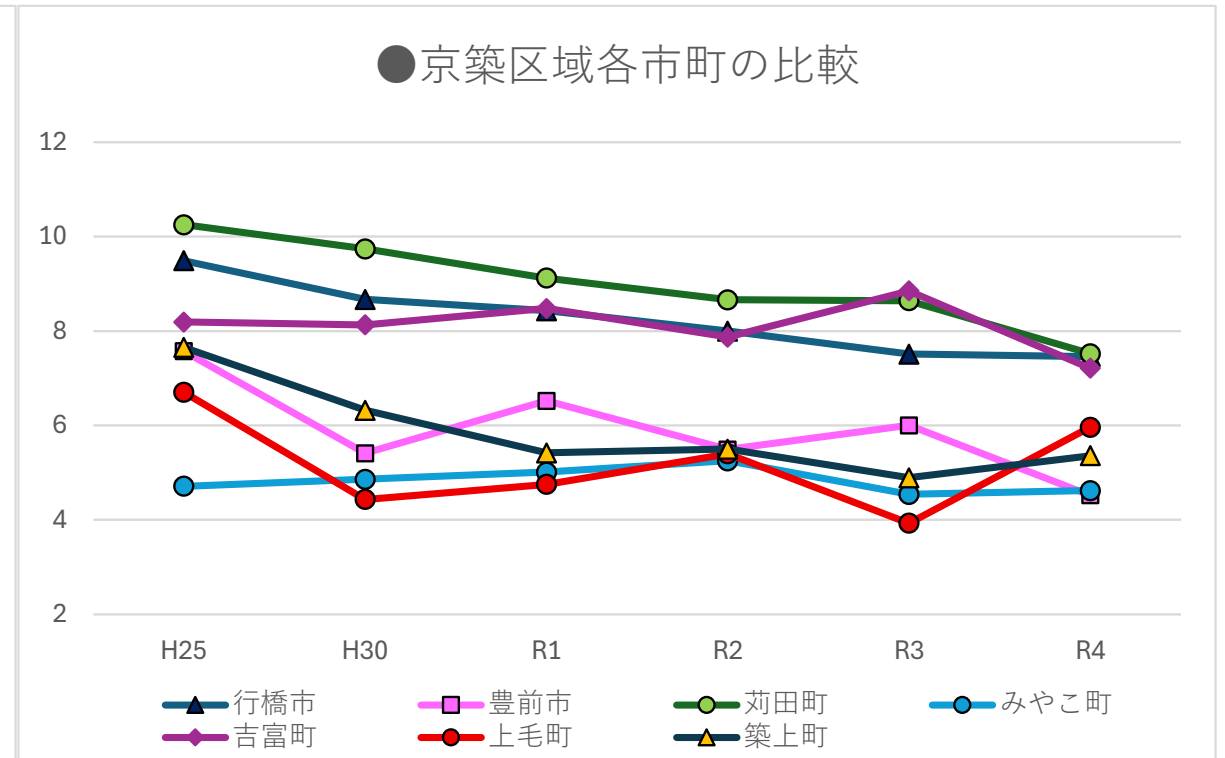
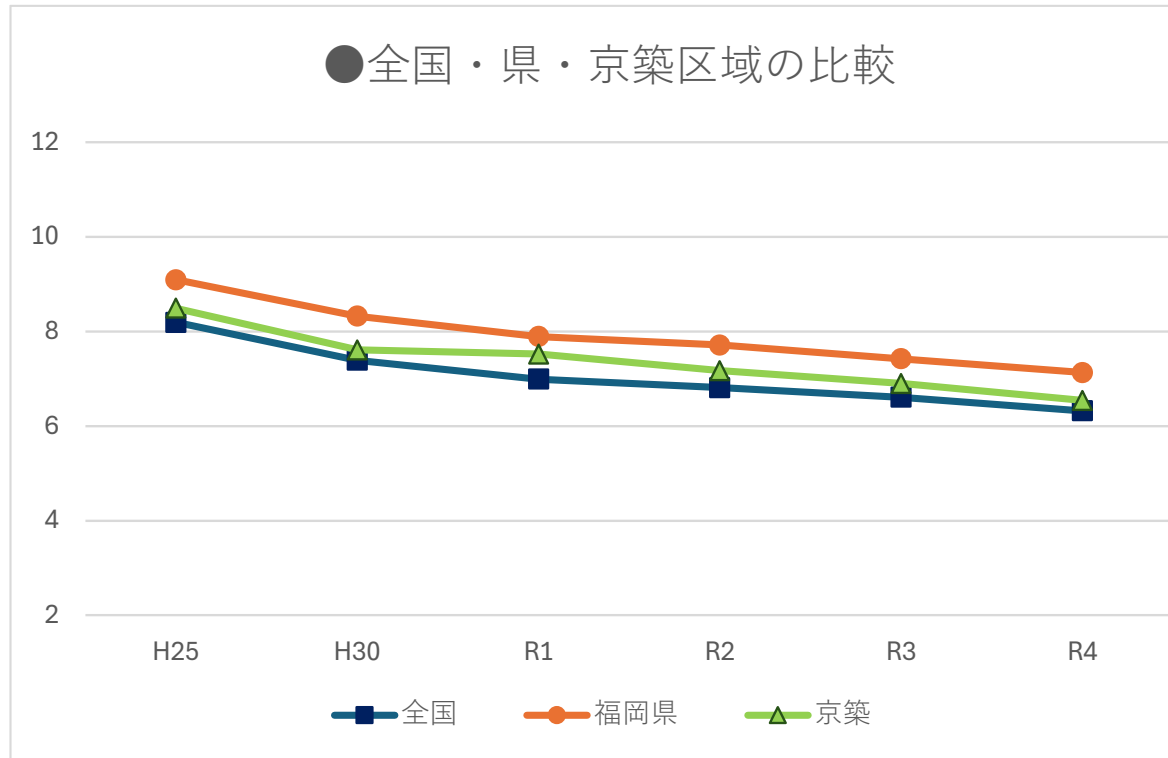
・ 就業者は、男性は流入が多く、女性は流出が多い
 ・ 通学者は、男女ともに流出が多い

産業別に昼間人口を見ると、製造業が最も多く、次いで医療・福祉、卸売業・小売業となっている
 製造業は、夜間人口よりも昼間人口が多いなど、地区内の製造業に他地区から流入している状況がみられる

表5) 昼間人口・夜間人口

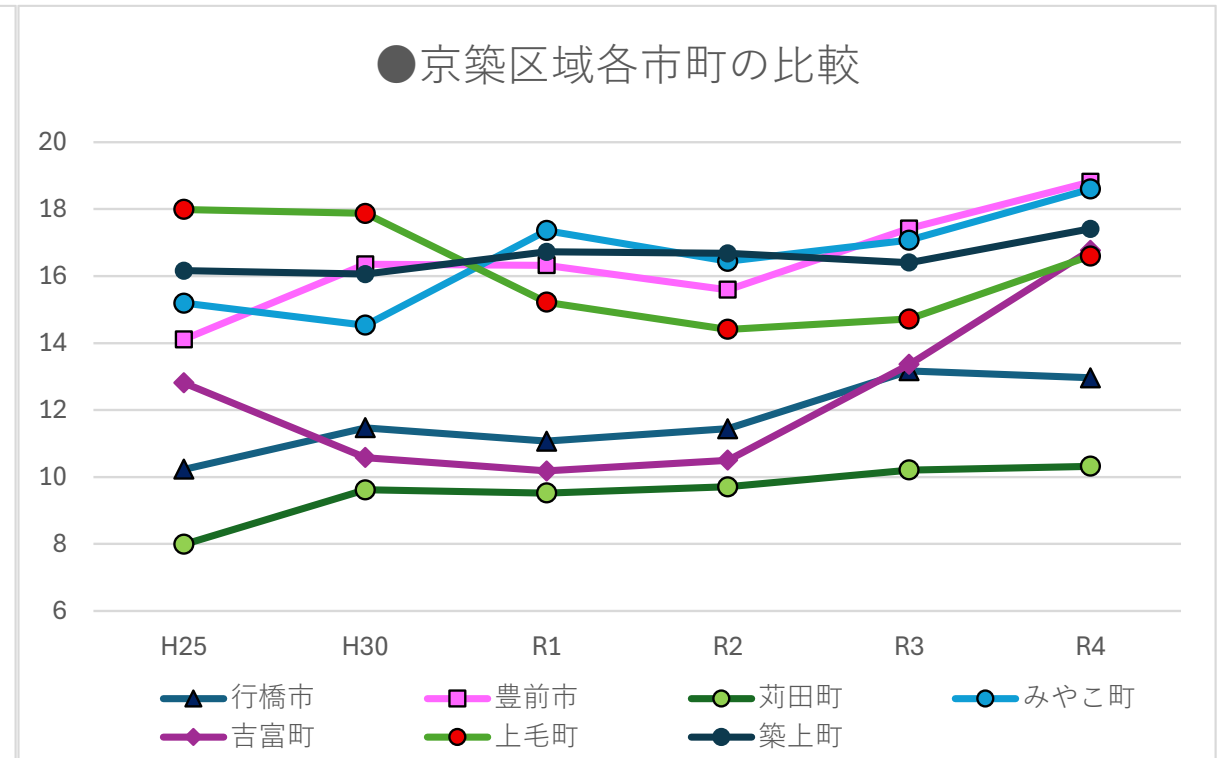
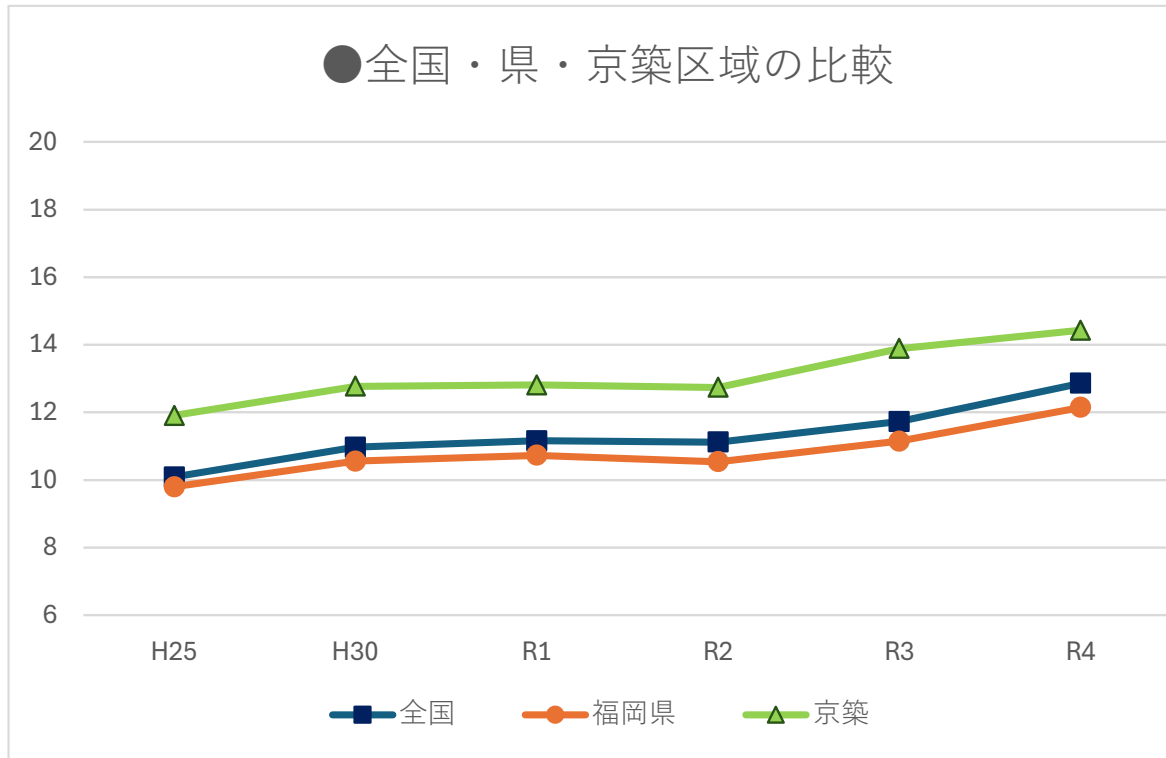


3. 出生率の状況 (「福岡県保健統計年報」)



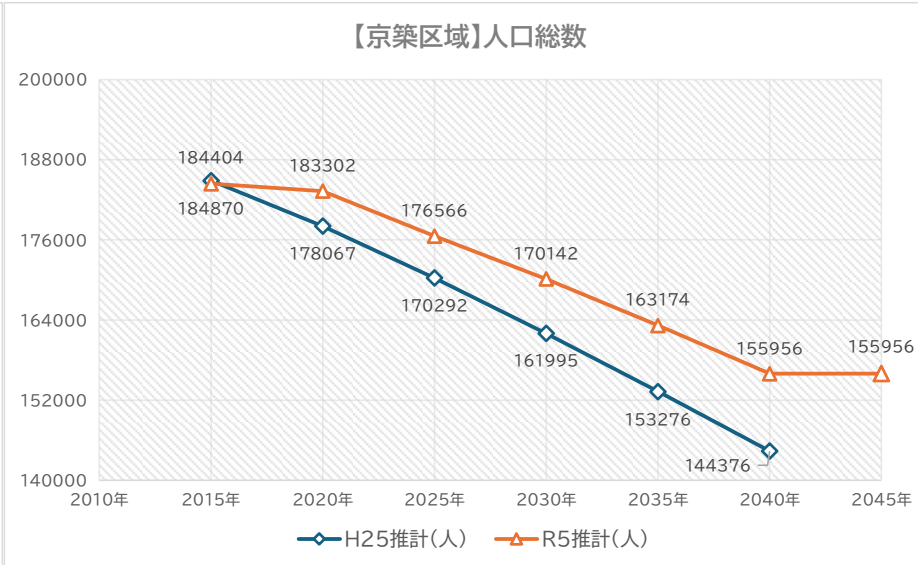
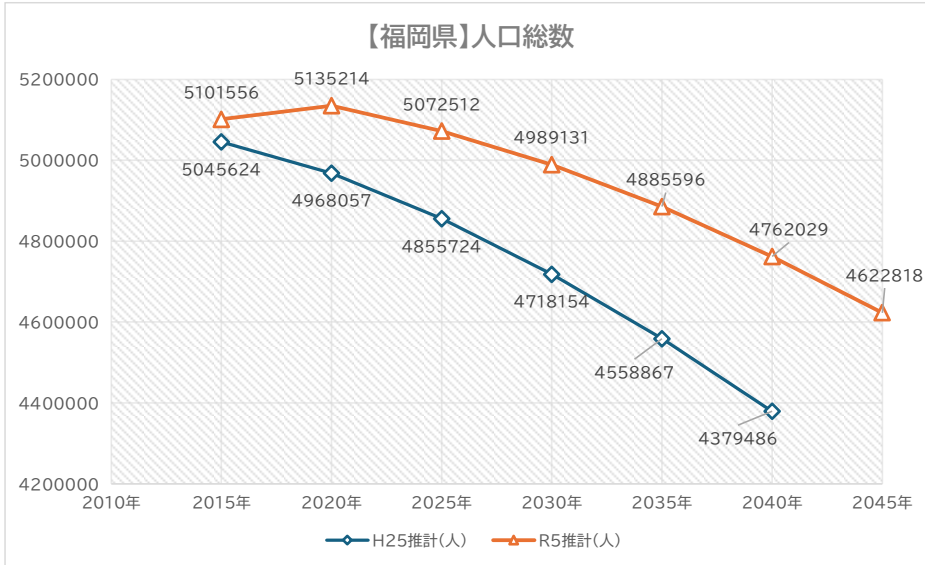
- ・出生率(人口千対)は、総人口、生産年齢人口の減少もあり、全国、福岡県、京築区域ともに低下傾向となっている
- ・市町別で見ると、年度ごとに増減はあるものの、概ね低下傾向となっている
- ・R4年の出生率は県平均(7.1%)よりも高いのが苅田町、行橋市、吉富町で、最も低いのが豊前市である

4. 死亡率の状況 (「福岡県保健統計年報」)



- ・死亡率(人口千対)は、老年人口の増加もあり、全国、福岡県、京築区域ともに上昇傾向となっている
- ・特に、京築区域は、老年人口の割合が全国、福岡県と比較して高いため、死亡率も高くなっているものと思料
- ・市町別を見ると、各市町で異なった動きをしているが、概ね、上昇傾向にあるものと思料
- ・県平均(12.2%)よりも死亡率が低い市町は苅田町のみである

5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)



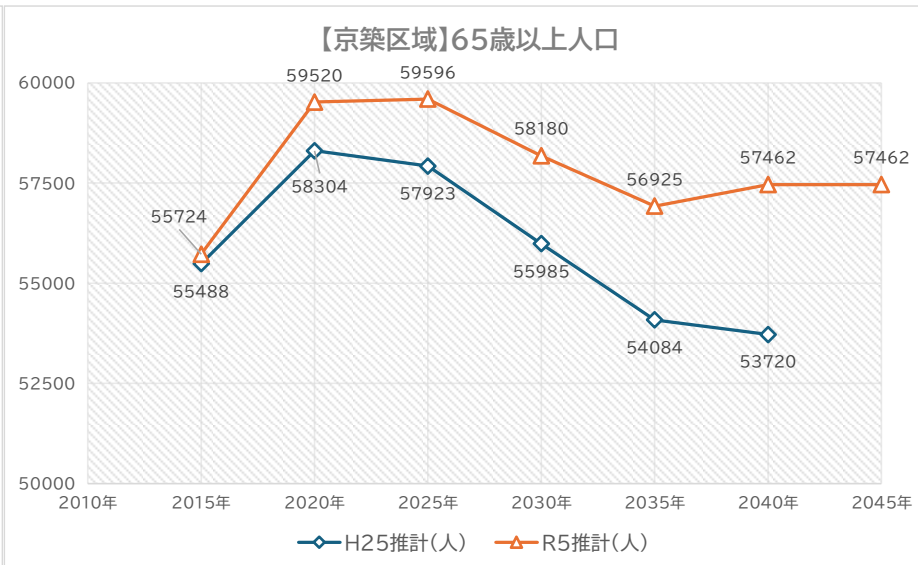
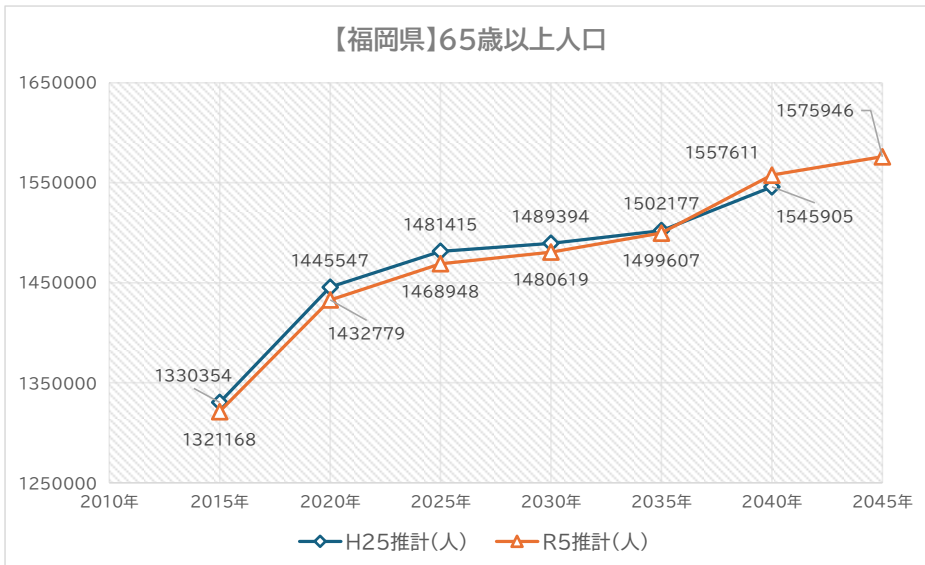
人口総数については、地域医療構想策定当時の推計(H25)と最新の推計(R5)を比べると、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】

当初の推計では、2015年以降減少する見込みであったが、R5推計では、2020年をピークに緩やかに減少する見込み

【京築区域】

当初推計と同様の傾向であるが、当初推計よりも若干緩やかに推移する見込み



65歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】

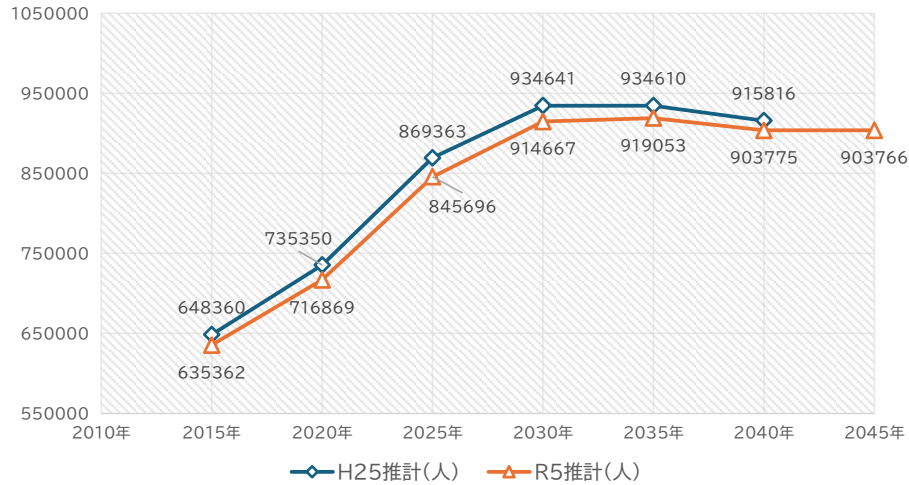
当初の推計と概ね同様の傾向で推移する

【京築区域】

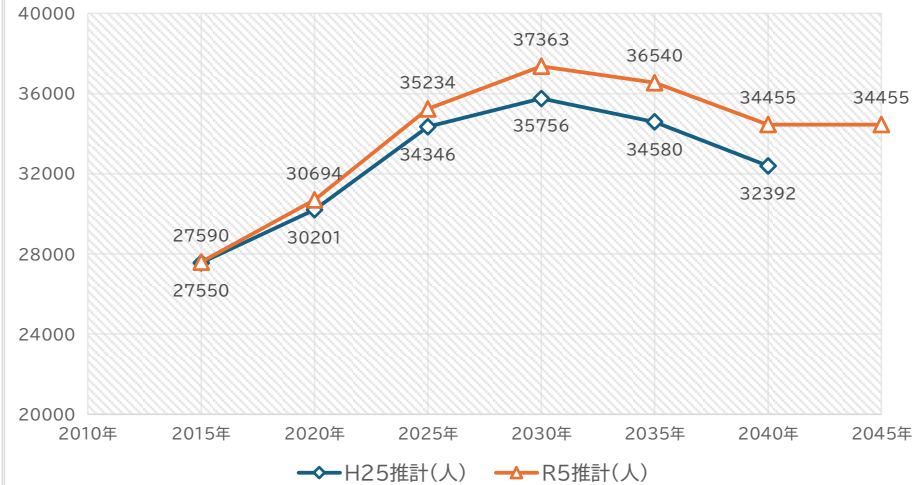
当初推計と同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

【福岡県】75歳以上人口



【京築区域】75歳以上人口



75歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

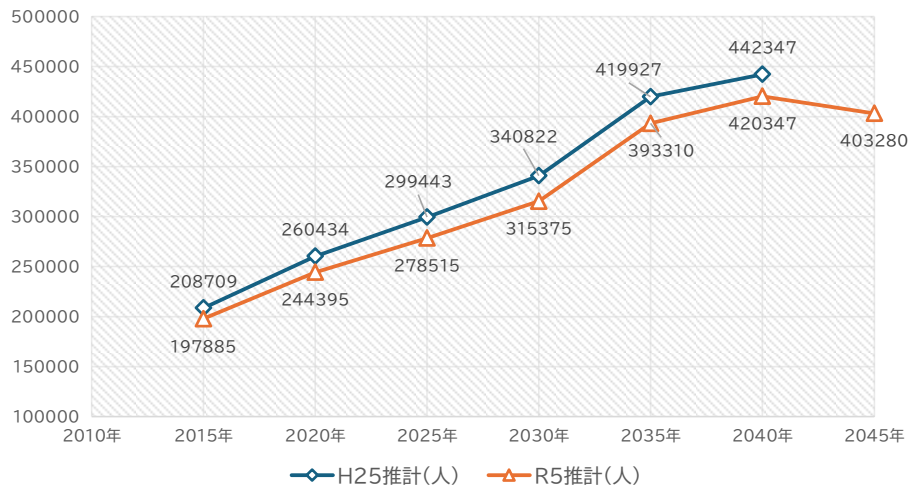
【福岡県全体】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは減少する見込み

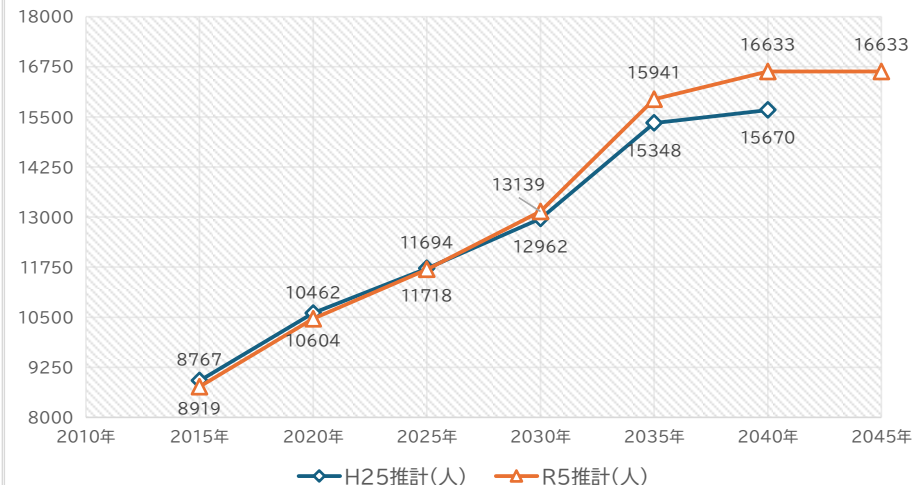
【京築区域】

当初推計と同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

【福岡県】85歳以上人口



【京築区域】85歳以上人口



85歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

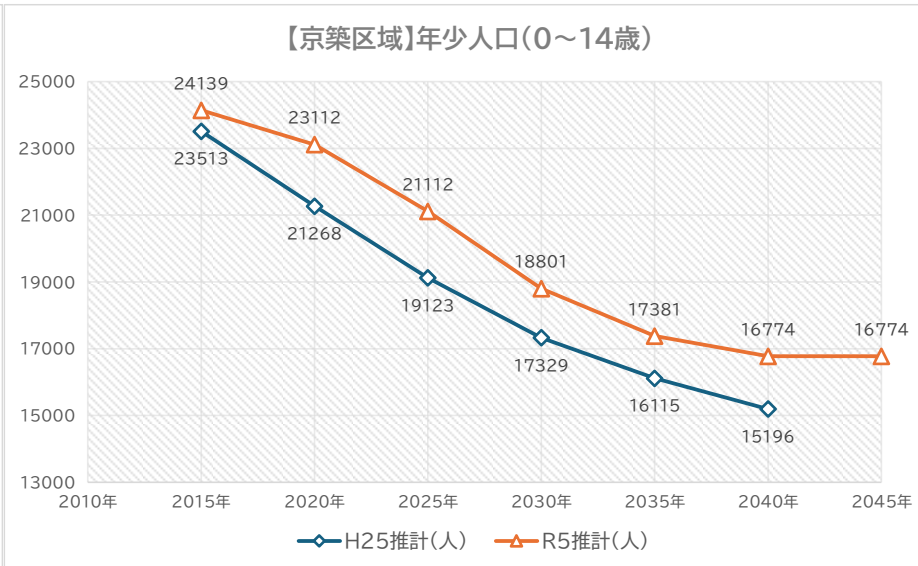
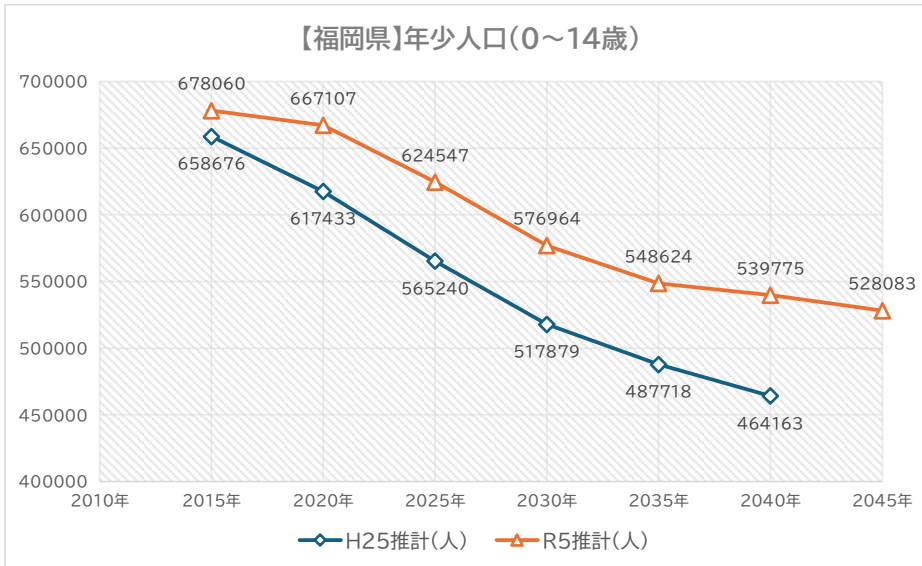
【福岡県全体】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは減少する見込み

【京築区域】

当初推計とほぼ同様の傾向で推移する見込み

5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)



年少人口については、以下の状況が読み取れる

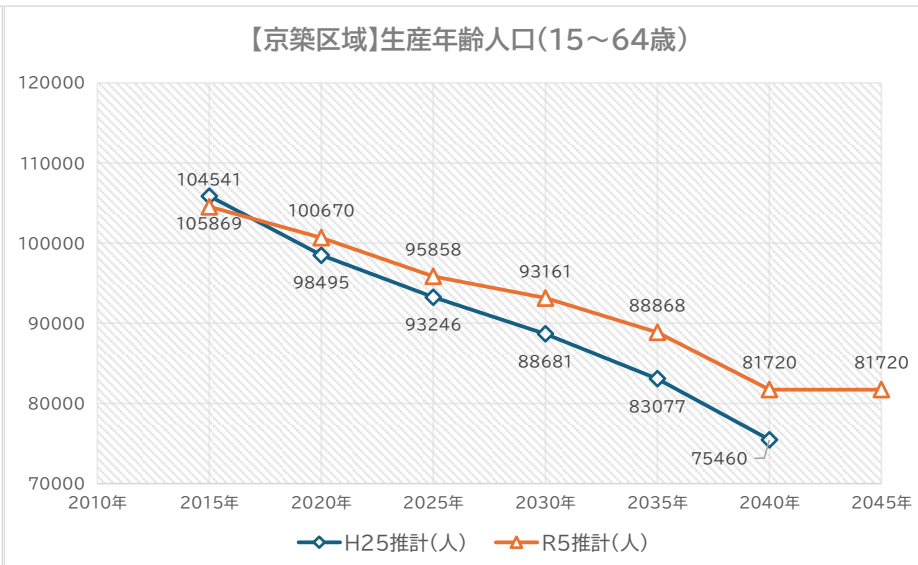
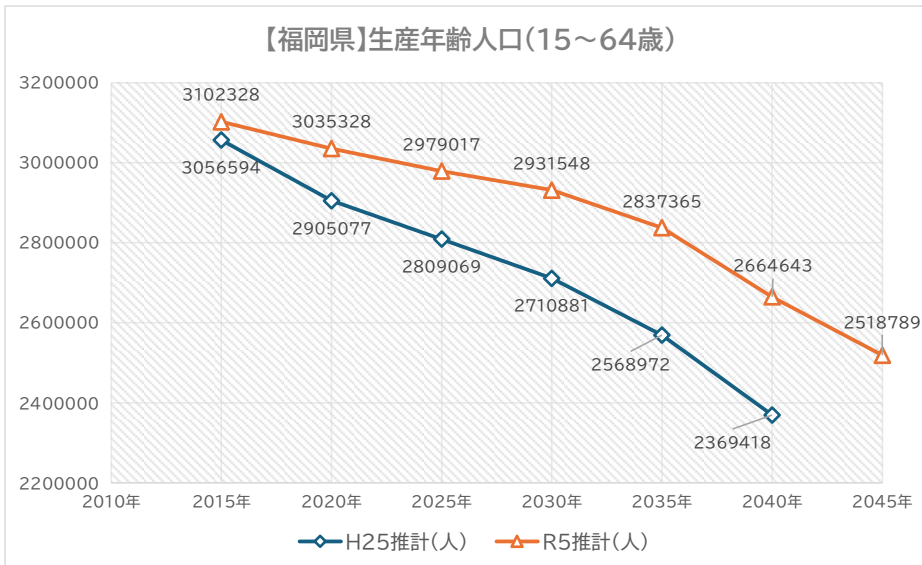
【福岡県全体】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

またR5推計では、2040年にかけて減少のカーブが緩やかになる見込み

【京築区域】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み



生産年齢人口については、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】

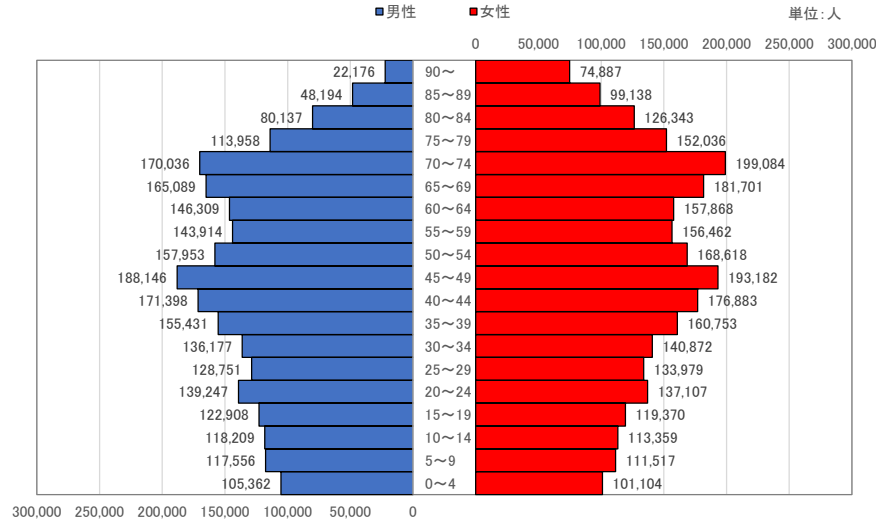
当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

【京築区域】

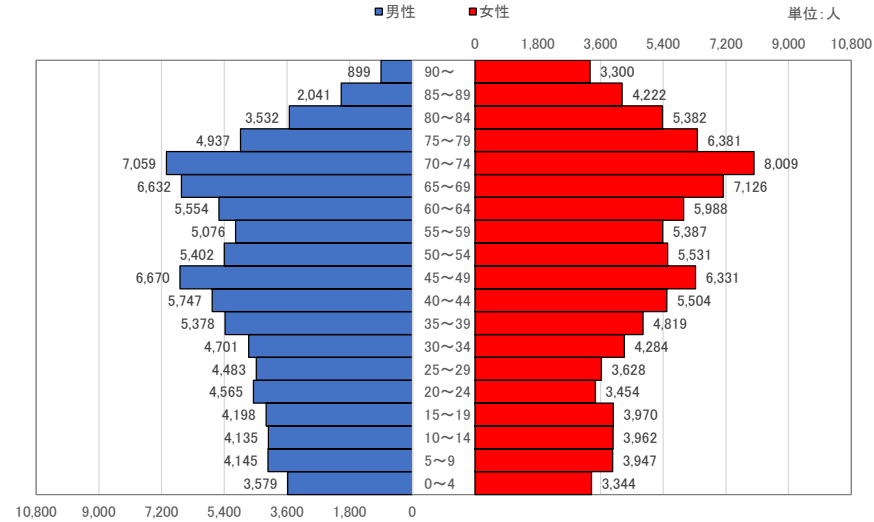
当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

【人口ピラミッドグラフ(福岡県)2020年】



【人口ピラミッドグラフ(京築)2020年】



2020(令和2)年の人口ピラミッドからは、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】

第1次ベビーブーム期にあたる71~74歳、第二次ベビーブーム期にあたる45~49歳で2つの人口の山があり、年齢が下がるにつれて人口が少なくなるつぼ型となっている

【京築区域】

京築区域の人口ピラミッドは、ほぼ県全体と同じような形状となっている

2040(令和22年)の人口ピラミッドからは、以下の状況が読み取れる

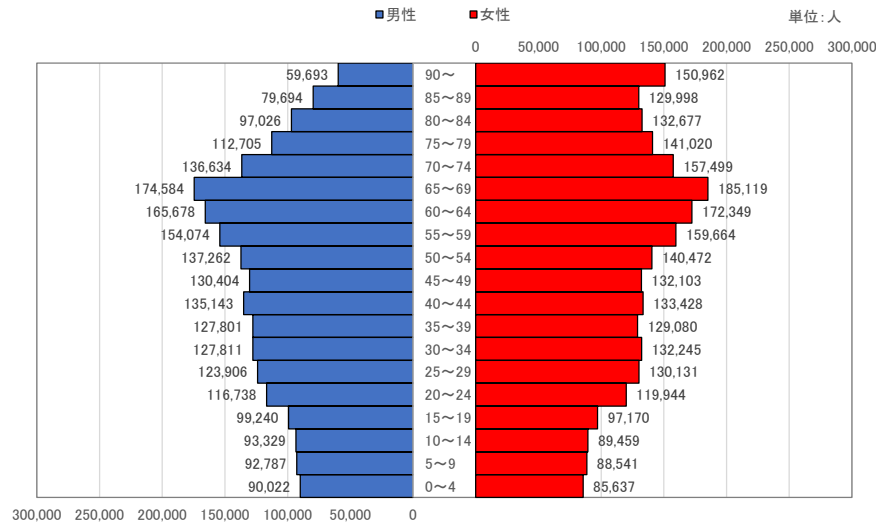
【福岡県全体】

ベビーブーム世代は90歳以上、65~69歳となり、この年代の人口ボリュームを一定程度維持しつつ推移するが、少子化が進むことによって、2020年に比べて年少人口が大きく減少し、より底が狭まったつぼ型となっている

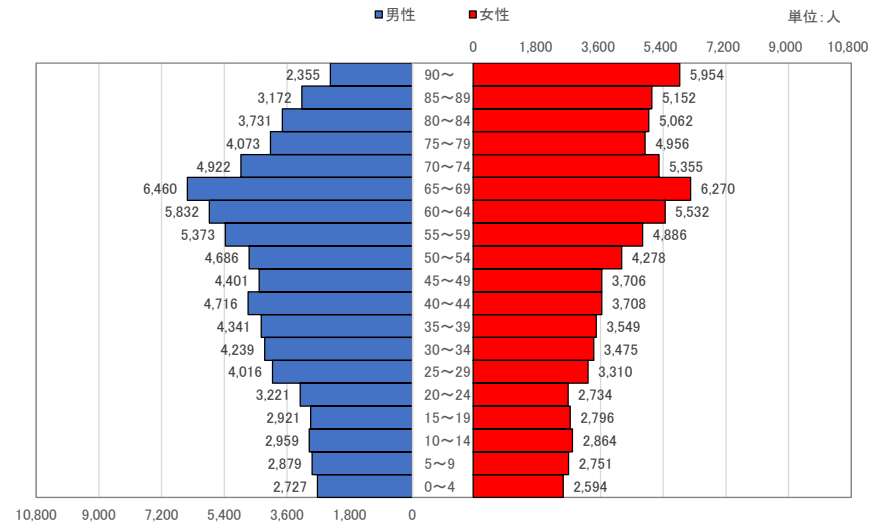
【京築区域】

2020年時点よりもさらに少子高齢化が進み、上が平らで、底が狭まった形状に変化しており、県全体とほぼ同じような形状となっている

【人口ピラミッドグラフ(福岡県)2040年】



【人口ピラミッドグラフ(京築)2040年】



6. 市町別将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

将来の男女5歳階級別推計人口(2020年は国勢調査による実績値)

総数	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
行橋市	71,426	70,614	69,244	67,561	65,631	63,527	61,430	14.0%
豊前市	24,391	22,344	20,876	19,421	18,019	16,685	15,453	36.6%
苅田町	37,684	37,734	37,442	36,958	36,299	35,489	34,551	8.3%
みやこ町	18,825	16,993	15,564	14,142	12,743	11,418	10,206	45.8%
吉富町	6,536	6,251	5,962	5,667	5,397	5,130	4,875	25.4%
上毛町	7,251	6,913	6,532	6,143	5,807	5,492	5,185	28.5%
築上町	17,189	15,717	14,522	13,282	12,060	10,907	9,865	42.6%
京築計	183,302	176,566	170,142	163,174	155,956	148,648	141,565	22.8%

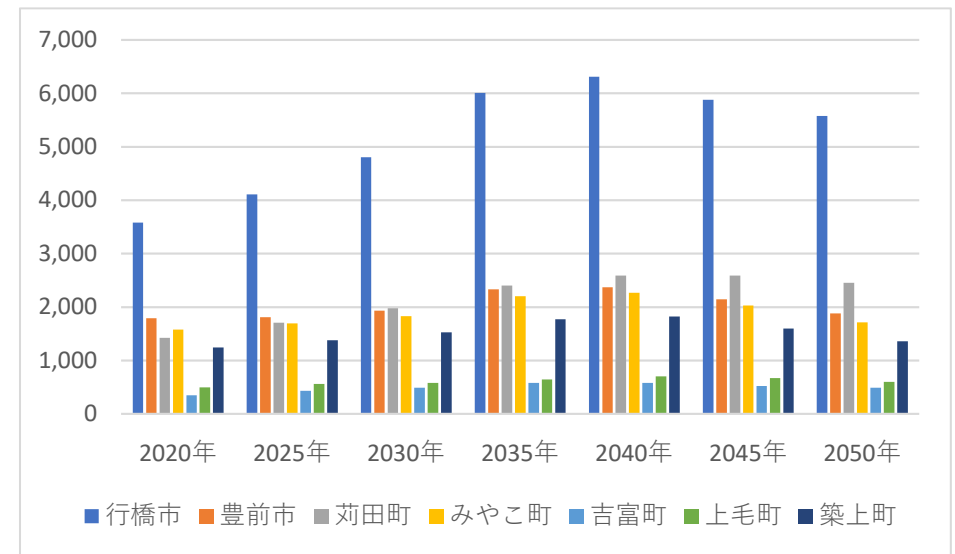
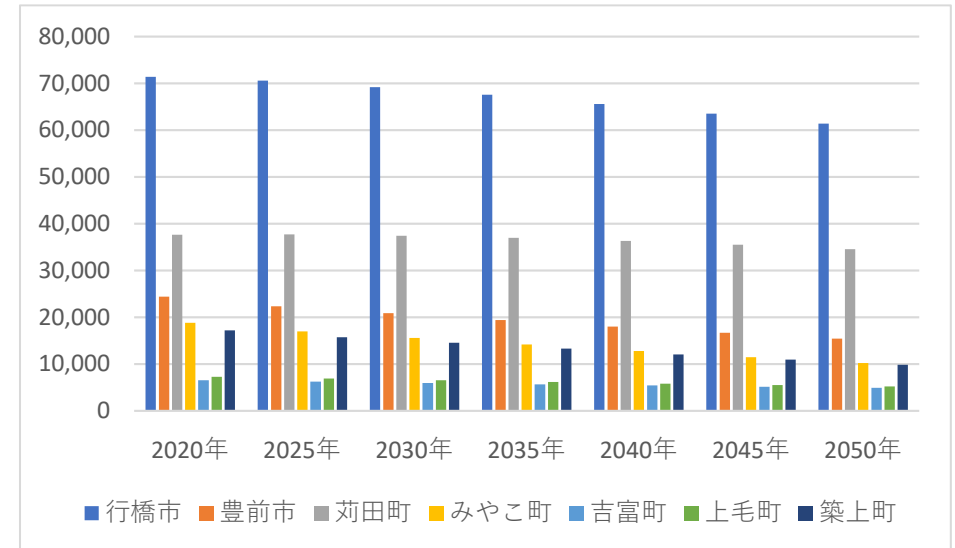
・いずれの市町も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、圏域全体の人口総数で22.8%

・減少率を市町別で見ると、苅田町が8.3%で最も低く、みやこ町は45.8%と最も高い

85歳以上	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	増加率 (20→40)
行橋市	3,578	4,107	4,803	6,011	6,308	5,877	5,577	76.3%
豊前市	1,794	1,808	1,932	2,332	2,368	2,145	1,878	32.0%
苅田町	1,425	1,708	1,975	2,402	2,589	2,588	2,453	81.7%
みやこ町	1,576	1,697	1,830	2,202	2,266	2,028	1,714	43.8%
吉富町	347	435	491	580	579	523	490	66.9%
上毛町	499	560	578	643	702	669	602	40.7%
築上町	1,243	1,379	1,530	1,771	1,821	1,599	1,361	46.5%
京築計	10,462	11,694	13,139	15,941	16,633	15,429	14,075	59.0%

・いずれの市町も2040年にピークを迎え、その後減少していく

・増加率(2020→2040)を市町別で見ると、京築区域全体の増加率(59.0%)を大きく上回っているのは、苅田町、行橋市、吉富町で、最も増加率が高い苅田町では80%を超えている



6. 市町別将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

生産年齢人口 (15~64歳)	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
行橋市	40,160	39,398	38,746	37,498	35,077	33,257	31,665	21.2%
豊前市	12,389	11,025	10,492	9,778	8,580	7,649	6,981	43.7%
苅田町	23,213	23,097	23,128	22,660	21,468	20,450	19,562	15.7%
みやこ町	9,001	7,739	7,054	6,264	5,289	4,521	3,961	56.0%
吉富町	3,562	3,417	3,300	3,085	2,807	2,597	2,431	31.8%
上毛町	3,651	3,413	3,266	3,049	2,787	2,566	2,335	36.0%
築上町	8,694	7,769	7,175	6,534	5,712	5,035	4,470	48.6%
京築計	100,670	95,858	93,161	88,868	81,720	76,075	71,405	29.1%

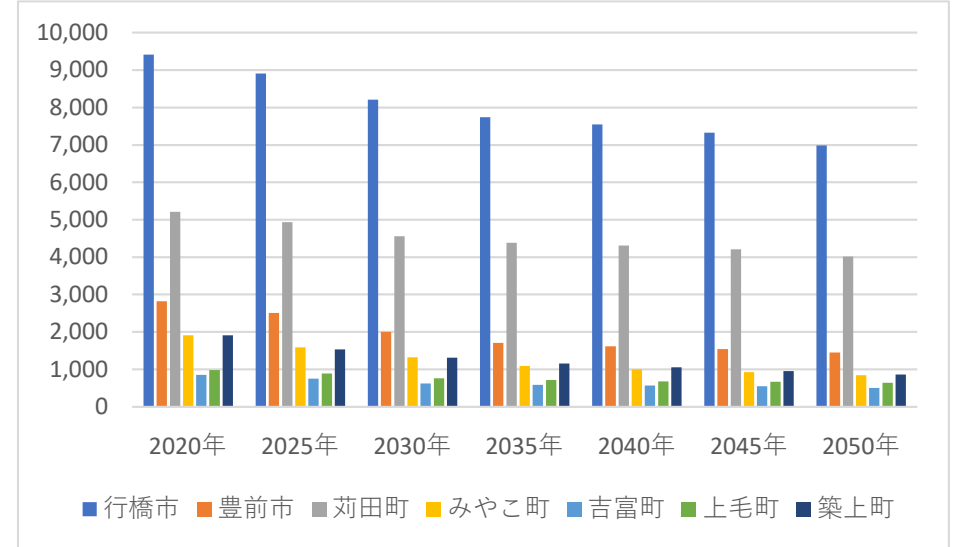
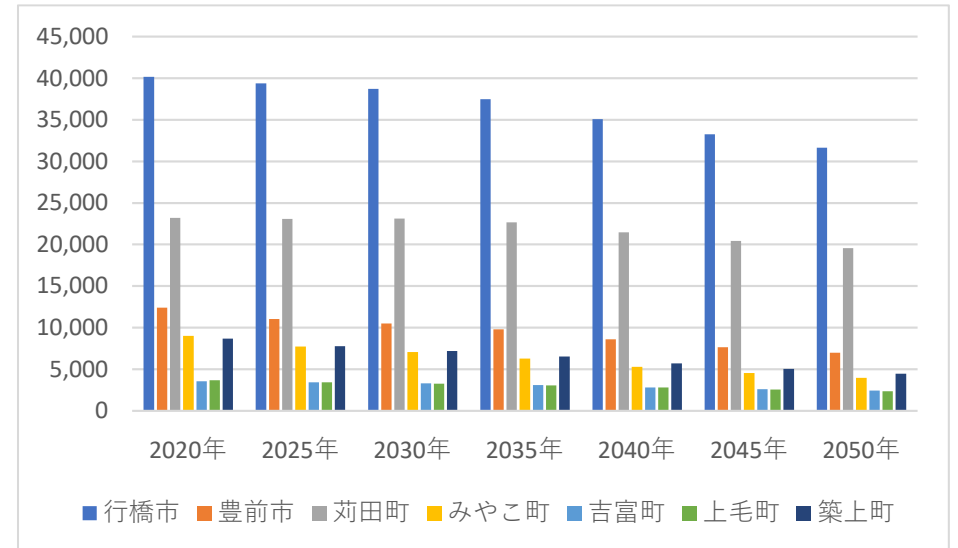
・いずれの市町も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、人口総数より大きい割合となっている

・減少率を市町別で見ると、みやこ町が50%を超えており、豊前市、築上町が40%台である

年少人口 (15歳未満)	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
行橋市	9,417	8,909	8,214	7,742	7,547	7,325	6,984	25.8%
豊前市	2,825	2,504	2,006	1,705	1,617	1,541	1,447	48.8%
苅田町	5,212	4,934	4,557	4,381	4,314	4,207	4,013	23.0%
みやこ町	1,907	1,590	1,324	1,092	999	923	839	56.0%
吉富町	854	753	626	589	568	546	505	40.9%
上毛町	984	892	762	712	679	664	642	34.8%
築上町	1,913	1,530	1,312	1,160	1,050	953	860	55.0%
京築計	23,112	21,112	18,801	17,381	16,774	16,159	15,290	33.8%

・いずれの市町も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、人口総数より大きい割合となっている

・減少率を市町別で見ると、みやこ町、築上町が50%を超えており、行橋市、苅田町が20%台である



7. SCRの状況 (SCRが100以上の項目の割合)

Standardized Claim-data Ratio: レセプト上に現れる各診療行為の算定回数を、都道府県の年齢構成の違いを調整し、出現比として指数化したもの
 全国平均と同じ診療回数が行われた場合には指数が100となる

(県全体)	入院	外来	入院+外来	(京築地域)	入院	外来	入院+外来
A 基本診療科	86.8%	50.0%	60.0%	A 基本診療科	36.7%	16.7%	20.0%
B 医学管理等	76.9%	46.2%	63.6%	B 医学管理等	10.0%	9.1%	9.1%
C 在宅医療	54.5%	45.5%	40.6%	C 在宅医療	32.0%	11.9%	0.0%
D 検査	65.7%	32.8%	46.0%	D 検査	7.2%	8.2%	3.5%
E 画像	100.0%	60.0%	70.0%	E 画像	0.0%	0.0%	0.0%
F 投薬	100.0%	25.0%	33.3%	F 投薬	0.0%	25.0%	33.3%
G 注射	62.5%	50.0%	76.9%	G 注射	33.3%	38.5%	23.1%
H リハビリテーション	75.0%	62.5%	75.0%	H リハビリテーション	33.3%	33.3%	42.9%
I 精神	66.7%	71.4%	50.0%	I 精神	77.8%	77.8%	85.7%
J 処置	66.3%	46.7%	67.1%	J 処置	16.9%	18.2%	12.1%
K 手術	76.1%	45.2%	73.6%	K 手術	15.1%	15.4%	12.6%
L 麻酔	60.0%	42.9%	58.3%	L 麻酔	8.3%	36.4%	18.2%
M 放射線治療	100.0%	40.0%	100.0%	M 放射線治療	-	-	-
N 病理診断	100.0%	42.9%	85.7%	N 病理診断	14.3%	0.0%	0.0%

・SCRが100以上の項目数は、以下のとおり(A~Nの全数)

[県全体]入院:545(73.3%)、外来:232(43.5%)、入院+外来:255(60.7%)

[京築]入院:88(17.9%)、外来:63(15.9%)、入院+外来40(10.8%)

・A~Nの分野ごとに見ると、京築区域では「精神」の割合が高い

7. SCRの状況 (SCRが90未満の項目の割合)

Standardized Claim-data Ratio: レセプト上に現れる各診療行為の算定回数を、都道府県の年齢構成の違いを調整し、出現比として指数化したもの
 全国平均と同じ診療回数が行われた場合には指数が100となる

(県全体)	入院	外来	入院+外来	(京築地域)	入院	外来	入院+外来
A 基本診療科	10.3%	33.3%	20.0%	A 基本診療科	59.2%	50.0%	40.0%
B 医学管理等	23.1%	46.2%	27.3%	B 医学管理等	90.0%	81.8%	81.8%
C 在宅医療	36.4%	36.4%	37.5%	C 在宅医療	64.0%	85.7%	96.8%
D 検査	24.1%	47.0%	38.1%	D 検査	90.7%	90.0%	93.9%
E 画像	0.0%	20.0%	20.0%	E 画像	100.0%	100.0%	100.0%
F 投薬	0.0%	75.0%	33.3%	F 投薬	100.0%	75.0%	66.7%
G 注射	31.3%	31.3%	15.4%	G 注射	58.3%	61.5%	61.5%
H リハビリテーション	25.0%	25.0%	25.0%	H リハビリテーション	66.7%	66.7%	57.1%
I 精神	33.3%	21.4%	37.5%	I 精神	22.2%	22.2%	14.3%
J 処置	25.0%	42.2%	22.9%	J 処置	71.2%	76.6%	81.8%
K 手術	13.7%	43.9%	15.5%	K 手術	80.2%	79.1%	85.1%
L 麻酔	33.3%	57.1%	41.7%	L 麻酔	91.7%	63.6%	81.8%
M 放射線治療	0.0%	60.0%	0.0%	M 放射線治療	-	-	-
N 病理診断	0.0%	28.6%	0.0%	N 病理診断	85.7%	100.0%	100.0%

・SCRが90を下回る項目数は、以下のとおり(A~Nの全数)

[県全体]入院:137(18.4%)、外来:226(42.4%)、入院+外来:112(26.7%)

[京築]入院:381(77.6%)、外来:318(80.3%)、入院+外来:317(85.2%)

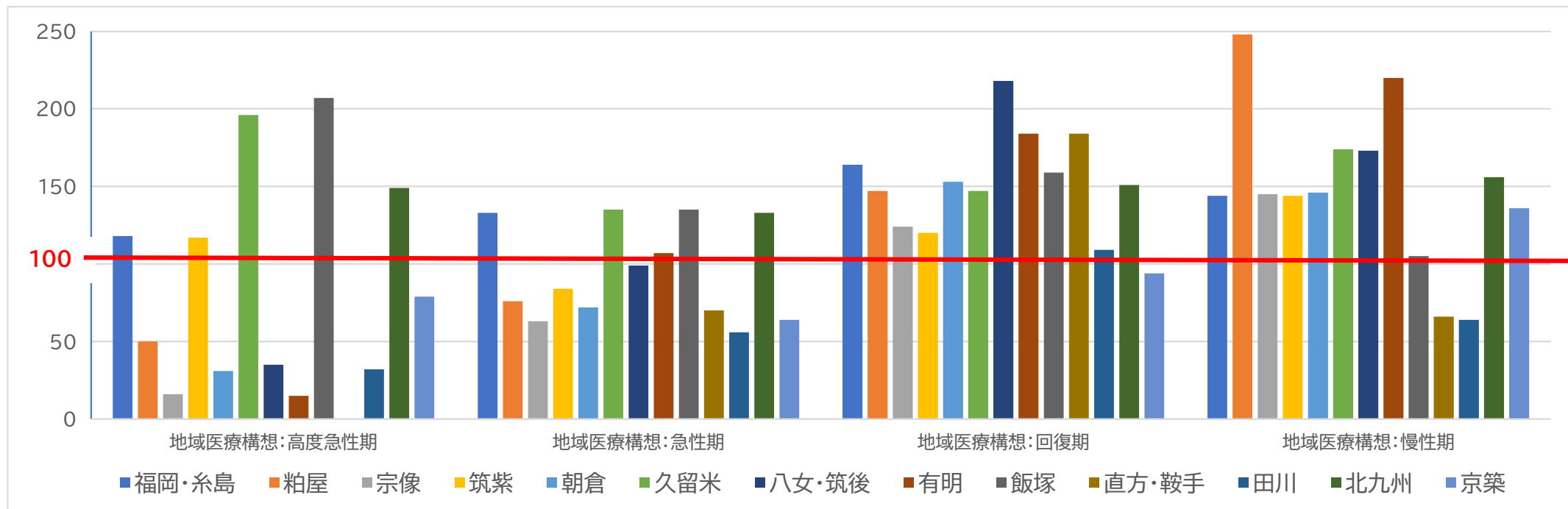
・京築区域では、多くの分野で90を下回る項目が多い傾向がある

7. SCRの状況 (各圏域ごとの比較①)

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)

(独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
地域医療構想:高度急性期	118	50	16	117	31	196	35	15	207		32	149	79
地域医療構想:急性期	133	76	63	84	72	135	99	107	135	70	56	133	64
地域医療構想:回復期	164	147	124	120	153	147	218	184	159	184	109	151	94
地域医療構想:慢性期	144	248	145	144	146	174	173	220	105	66	64	156	136

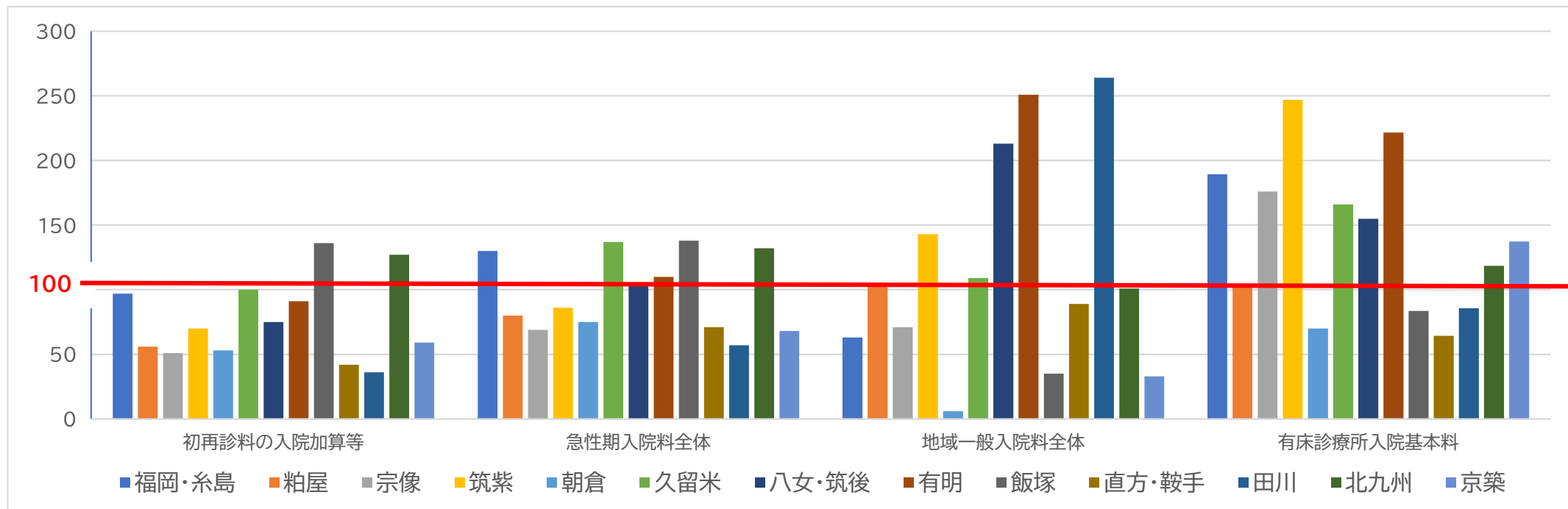


7. SCRの状況 (各圏域ごとの比較②)

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)

(独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

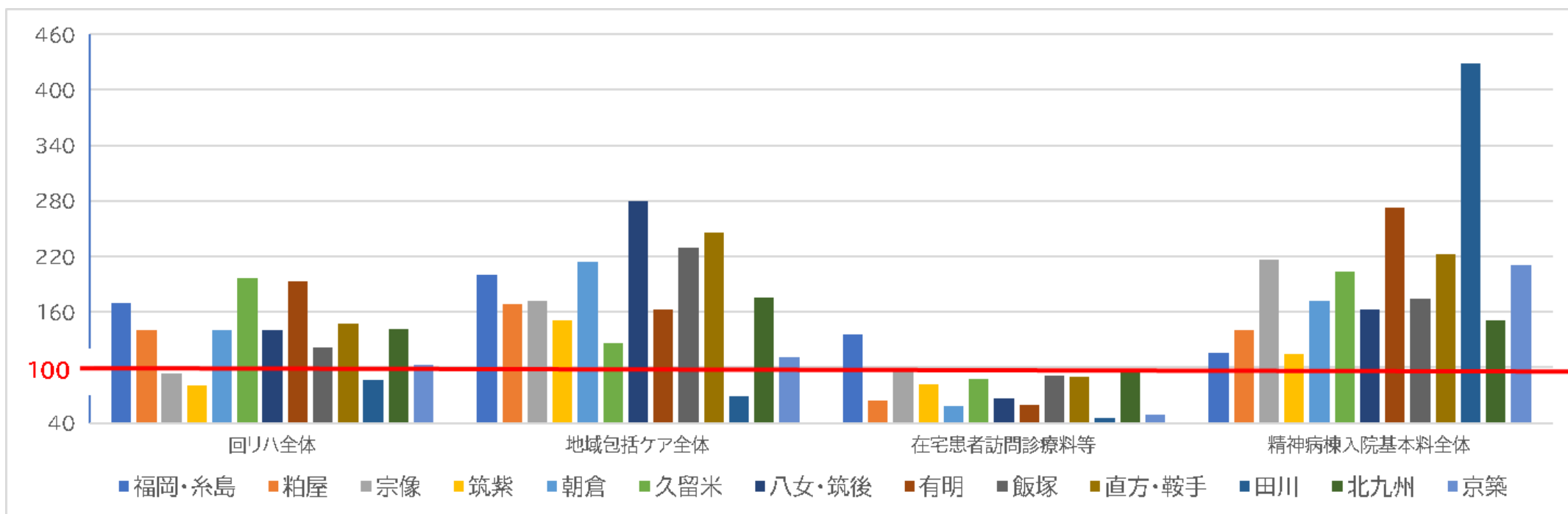
	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
初再診料の入院加算等	97	56	51	70	53	100	75	91	136	42	36	127	59
急性期入院料全体	130	80	69	86	75	137	105	110	138	71	57	132	68
地域一般入院料全体	63	103	71	143	6	109	213	251	35	89	264	101	33
有床診療所入院基本料	190	103	176	247	70	166	155	222	84	64	86	119	137



7. SCRの状況（各圏域ごとの比較③）

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計（東北大学藤森教授）
 （独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの）

	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
回り八全体	170	140	94	80	140	196	140	193	122	147	86	141	103
地域包括ケア全体	200	168	172	151	214	126	280	163	229	246	69	175	111
在宅患者訪問診療料等	136	64	99	82	58	88	66	60	91	90	46	98	49
精神病棟入院基本料全体	116	140	216	114	172	204	162	273	174	222	429	151	211

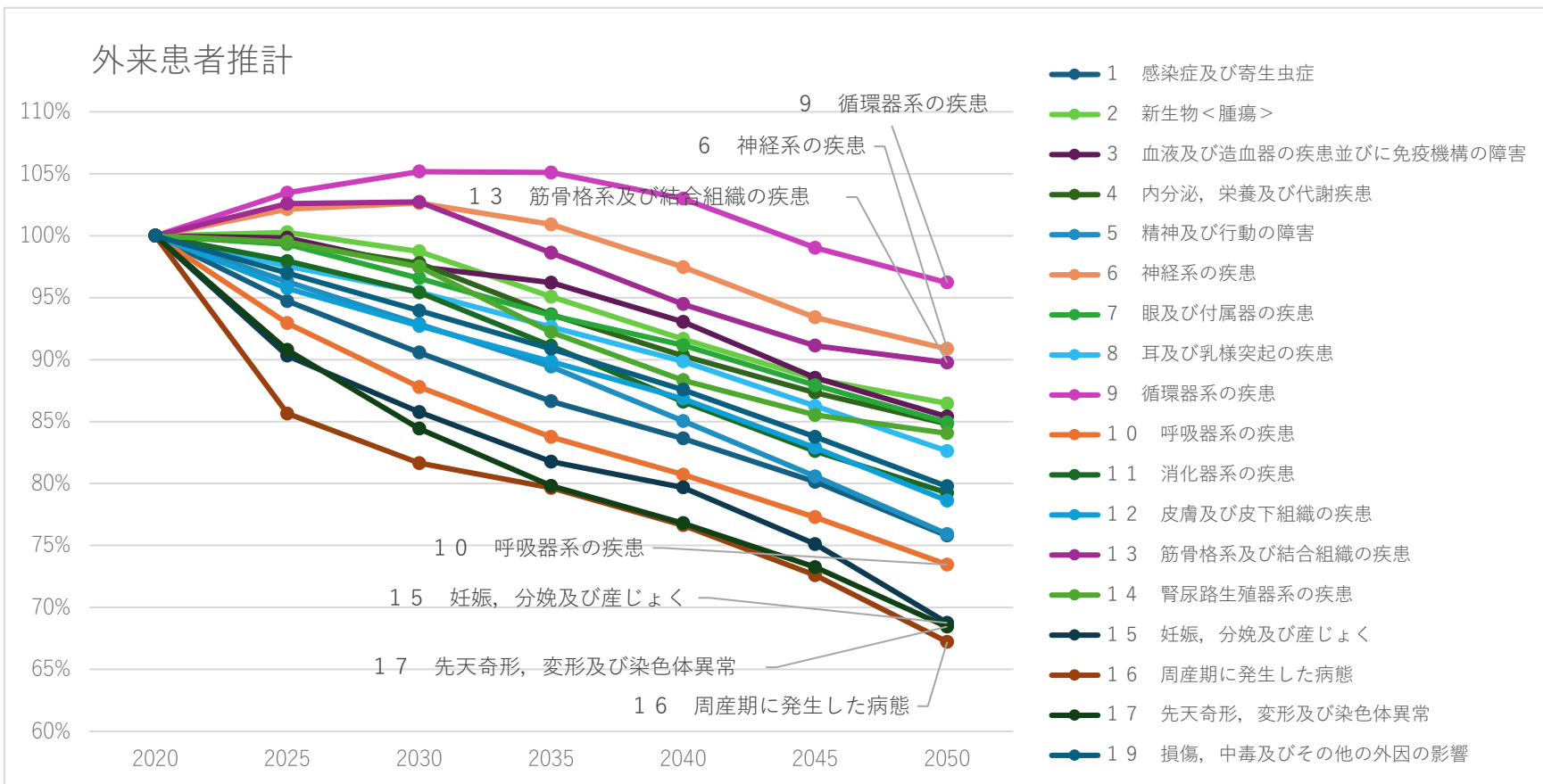


8. 患者推計 (産業医科大学:地域別人口変化分析ツールAll Japan Areal Population-change Analyses(AJAPA))

京築区域(市区町村別の患者推計は、別紙資料1を参照)

【外来患者推計】

循環器系、筋骨格系については、2030年をピークに減少していく見込み
それ以外については、漸次減少していく見込み



外来患者数は、全ての疾病が2050年時点100%を下回っており、今後、外来患者は減り続けるものと思料

・減少率大きい主な疾病は、次のとおり

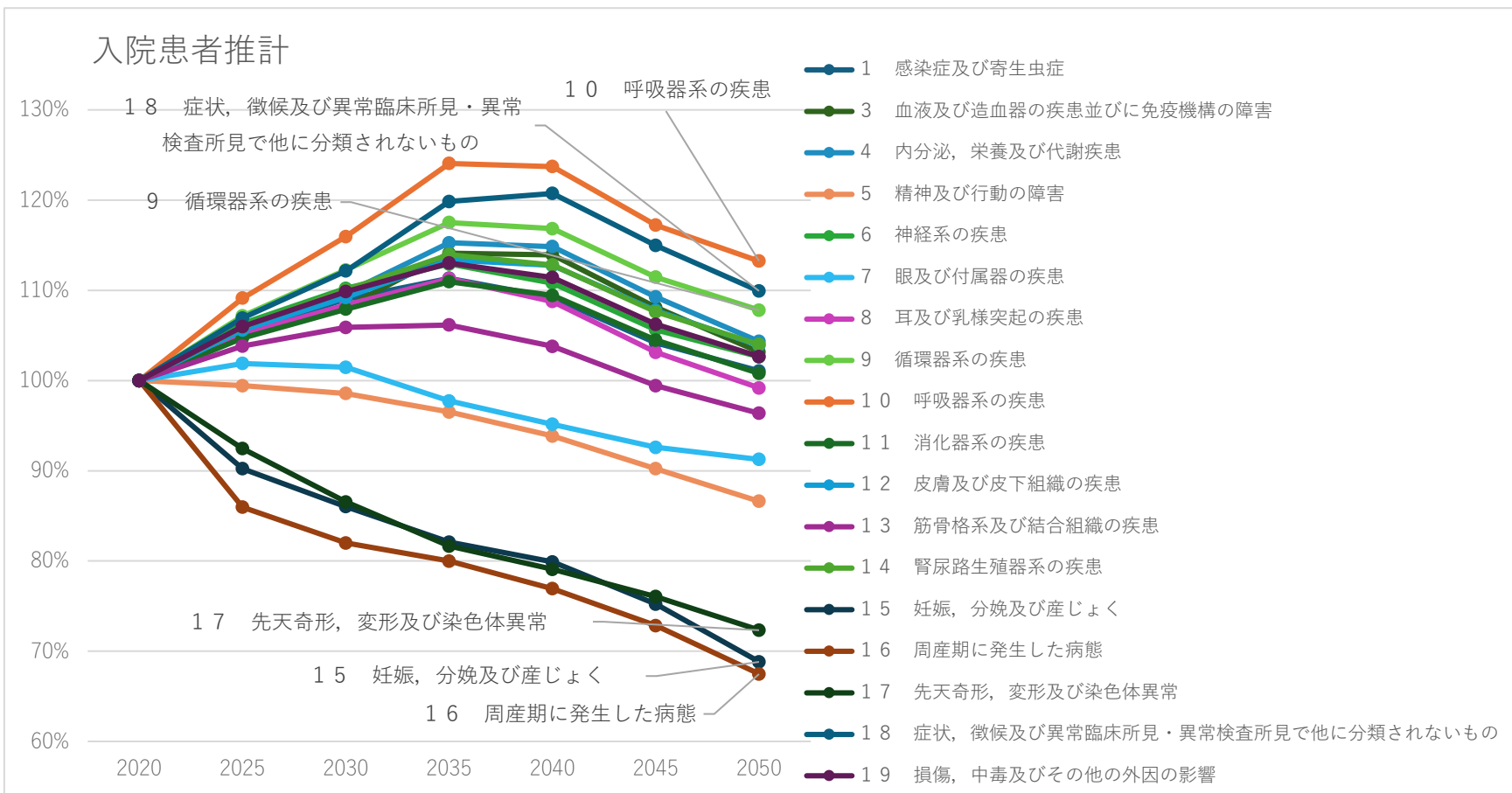
- 系列16〔周産期に発生した病態〕
- 系列15〔妊娠、分娩及び産じょく〕
(対応する診療科)
→産婦人科、産科、婦人科
- 系列17〔先天奇形、変形及び染色体異常〕
(対応する診療科)
→小児科
- 系列10〔呼吸器系〕
(対応する診療科)
→呼吸器内科、呼吸器外科

8. 患者推計 (産業医科大学:地域別人口変化分析ツールAll Japan Areal Population-change Analyses(AJAPA))

【入院患者推計】

多くの疾患が2035年をピークに減少していく見込み

周産期、妊娠・分娩、小児、精神系は、漸次減少していく見込み



2020年を基準とした入院患者数は、2050年時点まで増加する疾患と減少する疾患がある

・2050年時点で、増加率が100%を超えている主な疾病は次のとおり

- 系列10〔呼吸器系の疾患〕
(対応する診療科)
→呼吸器内科、呼吸器外科
- 系列9〔循環器系の疾患〕
(対応する診療科)
→循環器内科、心臓血管外科
- 系列14〔腎尿路生殖器系〕
(対応する診療科)
→腎臓内科、泌尿器科、婦人科
- 系列4〔内分泌、栄養及び代謝疾患〕
(対応する診療科)
→糖尿病内科(代謝内科)

・2050年時点で、減少率が大きい主な疾病は、次のとおり

- 系列16〔周産期に発生した病態〕
- 系列15〔妊娠、分娩及び産じょく〕
→産婦人科、産科、婦人科
- 系列17〔先天奇形、変形及び染色体異常〕
(対応する診療科)
→小児科

9. 医療従事者数〔医師〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）※人口：福岡県人口移動調査（R4.12.1）

		医師数	人口10万人当たり
行橋市		137	193.1
	病院	83	117.0
	診療	54	76.1
豊前市		36	152.7
	病院	13	55.1
	診療	23	97.6
苅田町		63	165.3
	病院	40	104.9
	診療	23	60.3
みやこ町		13	72.1
	病院	8	44.4
	診療	5	27.7
吉富町		12	186.5
	病院	5	77.7
	診療	7	108.8
上毛町		4	56.7
	病院	-	-
	診療	4	56.7
築上町		19	114.5
	病院	3	18.1
	診療	16	96.4
京築 計		284	157.1
	病院	152	84.1
	診療	132	73.0
福岡県 計		15,968	312.1
	病院	11,025	215.5
	診療	4,943	96.6

◆医師偏在指標及び県内・全国順位（県内二次保健医療圏、周産期医療圏、小児科）

		医師偏在指標		
		数値	県内順位	全国順位
医師全体	福岡県	313.3	—	3/47
	直方・鞍手	184.4	12/13	205/330
	田川	197.4	11/13	171/330
	北九州	301.6	4/13	38/330
	京築	151.6	13/13	288/330
産科	福岡県	11.0	—	12/47
	福岡	10.4	3/4	94/258
	筑後	11.6	2/4	71/258
	筑豊	8.7	4/4	147/258
	北九州	12.7	1/4	53/258
小児科	福岡県	122.0	—	16/47
	直方・鞍手	81.5	12/13	251/303
	田川	119.8	6/13	103/303
	北九州	132.7	2/13	58/303
	京築	40.8	13/13	302/303

「福岡県医師確保計画（令和6年3月）「医師偏在指標及び県内・全国順位」から抜粋」

- ・人口10万人当たりの医師数で100を切っているのは、みやこ町、上毛町
- ・医師偏在指標を見ると、京築区域は本県唯一の医師少数区域
- ・小児科医師は、全国順位でもワースト2

9. 医療従事者数〔医師〕

診療所開設者年齢ピラミッド「公衆衛生等に係る医療の提供状況」(令和5年9月福岡県医療指導課)

年齢階級	直方・鞍手	田川	北九州	京築	福岡県
90 -	0	0	6	2	23
85 - 89	1	2	3	2	43
80 - 84	1	2	18	0	74
75 - 79	8	6	39	9	208
70 - 74	9	13	88	11	466
65 - 69	16	15	138	17	550
60 - 64	10	11	117	21	544
55 - 59	4	3	102	16	419
50 - 54	4	10	74	12	321
45 - 49	2	2	30	5	243
40 - 44	2	1	30	5	121
35 - 39	3	1	5	0	31
30 - 34	0	0	0	1	9
- 29	0	0	0	0	1
Total	60	66	650	101	3,053

・診療所開設者の年齢ピラミッドを見ると、どの区域も「60-64」「65-69」がボリュームゾーンとなっている

・医師不足や後継者確保(継承)の困難さを鑑みると、10年後、20年後の体制を考えておく必要があるのではないか

10. 医療従事者数〔医師・診療科①〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

外来 入院		減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少		減少 減少	減少	減少		減少 減少	減少 減少	減少 増加
	内科	整形外科	精神科	外科	循環器内科	臨床研修医	眼科	皮膚科	脳神経外科	救急科	小児科	耳鼻 いんこう科	呼吸器内科
行橋市	32	11	12	6	7	12	6	5	8	5	3	4	2
豊前市	11	3	10	-	-	-	2	1	-	-	1	2	1
苅田町	16	12	1	7	2	-	2	2	1	4	2	2	4
みやこ町	8	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
吉富町	4	1	1	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
上毛町	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
築上町	11	2	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-
京築 計	85	29	24	17	12	12	10	9	9	9	8	8	7

外来 入院		減少	減少	減少	減少 減少		減少 増加	減少		減少 減少	減少	減少	
	消化器内科 (胃腸内科)	糖尿病内科 (代謝内科)	泌尿器科	産婦人科	脳神経内科	リハビリ テーション 科	呼吸器外科	婦人科	放射線科	麻酔科	リウマチ科	心臓血管 外科	乳腺外科
行橋市	2	6	3	3	1	2	1	-	1	2	1	1	-
豊前市	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
苅田町	1	-	1	-	-	1	1	1	1	-	-	-	1
みやこ町	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
吉富町	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
上毛町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
築上町	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
京築 計	7	7	6	4	3	3	2	2	2	2	1	1	1

※スライド21・22を基に、今後患者が増えていく見込みの診療科（入院・外来）は「増加」、減少していく見込みの診療科は「減少」としている

10. 医療従事者数〔医師・診療科②〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

外来
入院

減少

	消化器外科 (胃腸外科)	臨床検査科	その他	不詳
行橋市	-	1	-	-
豊前市	1	-	-	-
苅田町	-	-	1	-
みやこ町	-	-	-	-
吉富町	-	-	-	-
上毛町	-	-	-	-
築上町	-	-	-	1
京築 計	1	1	1	1

令和6年3月に策定した「福岡県外来医療計画」の構想区域の
主な意見

- ・産婦人科が不足しており、患者は行橋・中津に行っている
- ・独居の高齢者も多く、今後死体検案が増えてくることが予想され、死体検案を担う医師が必要
- ・訪問診療を担う医師が不足しており、訪問診療を担う若手医師の確保が必要

※スライド21・22を基に、今後患者が増えていく見込みの診療科（入院・外来）は「増加」、減少していく見込みの診療科は「減少」としている

11. 医療従事者数〔常勤医師①〕 (令和5年度「病床機能報告」)

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		
行橋市	新行橋病院		48.3	95.0%	306.9	20.9	18	183	45	0	0	66.3%	4,228
		常勤	46		292	20							
	非常勤	2.3	14.9	0.9									
	医療法人敬愛会 新田原聖母病院		9.5	63.0%	46.2	12.4	0	53	0	53	0	87.7%	*
		常勤	6		43	11							
	非常勤	3.5	3.2	1.4									
	医療法人起生会大原病院		0	-	63.5	10.3	0	36	30	35	0	87.9%	*
		常勤	0		58	10							
	非常勤	0	5.5	0.3									
	医療法人森和会 行橋中央病院		6.1	66.0%	34.1	18.2	0	98	0	50	0	54.3%	0
		常勤	4		33	18							
	非常勤	2.1	1.1	0.2									
	行橋厚生病院		7.4	54.0%	46.3	35.8	0	0	0	44	0	88.4%	*
		常勤	4		43	34							
	非常勤	3.4	3.3	1.8									
	医療法人社団翠会 行橋記念病院		2.4	42.0%	34	10.9	0	0	0	60	0	94.0%	0
		常勤	1		34	10							
	非常勤	1.4	0	0.9									
おおみや整形外科医院		2.9	69.0%	7.1	4.5	0	19	0	0	0	101.5%	*	
	常勤	2		3	2								
非常勤	0.9	4.1	2.5										
医療法人正薫会 上垣脳神経外科医院		2.7	37.0%	0.8	7	0	19	0	0	0	86.9%	0	
	常勤	1		0	4								
非常勤	1.7	0.8	3										
医療法人行橋クリニック		6	50.0%	20	3	0	5	0	0	0	17.8%	0	
	常勤	3		20	3								
非常勤	3	0	0										
医療法人 立野レディースクリニック		1	100.0%	6	4	0	11	0	0	0	48.2%	0	
	常勤	1		6	4								
非常勤	0	0	0										

※月別の件数に1件~9件の数値がある場合、「*」表記
救急告示

11. 医療従事者数〔常勤医師②〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		
行橋市	しんもと産婦人科		1	100.0%	3	7	0	13	0	0	0	19.8%	*
		常勤	1		3	7							
		非常勤	0		0	0							
	医療法人惺光会 行橋南眼科		1.1	91.0%	2	1	0	5	0	0	0	0.0%	0
		常勤	1		2	1							
		非常勤	0.1		0	0							
医療法人 尚医会 宮本眼科		1	100.0%	6	0	0	4	0	0	0	5.2%	0	
	常勤	1		6	0								
	非常勤	0		0	0								
豊前市	医療法人社団豊和会 豊前病院		4.8	63.0%	44.2	34	0	0	0	45	0	73.9%	0
		常勤	3		43	30							
		非常勤	1.8		1.2	4							
	医療法人豊永会 久永内科皮膚科医院		2	100.0%	4	3.5	0	0	0	14	0	0.2%	0
		常勤	2		4	3							
		非常勤	0		0	0.5							
	重岡胃腸科外科医院		1	100.0%	2.4	5	0	18	0	0	0	11.4%	0
		常勤	1		2	5							
		非常勤	0		0.4	0							
	医療法人和香会 ぶぜん眼科クリニック		1	100.0%	4	1	0	4	0	0	0	37.0%	0
		常勤	1		3	0							
		非常勤	0		1	1							
みぞぐち泌尿器科クリニック		2	100.0%	7.4	4	0	4	0	0	0	4.8%	*	
	常勤	2		6	4								
	非常勤	0		1.4	0								
苅田町	社会医療法人 陽明会 小波瀬病院		44.5	72.0%	245	7.8	0	166	100	0	0	86.7%	2,310
		常勤	32		233	6							
		非常勤	12.5		12	1.8							
	社会医療法人陽明会御所病院		4	100.0%	50	12	0	0	0	120	0	96.9%	0
常勤		4	50		12								
		非常勤	0	0	0								

※月別の件数に1件~9件の数値がある場合、「*」表記

救急告示

11. 医療従事者数〔常勤医師③〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		
苅田町	健和会 京町病院		4.5	67.0%	49.4	3.8	0	0	0	112	0	96.2%	0
		常勤	3		44	3							
		非常勤	1.5		5.4	0.8							
みやこ町	京都病院		11.2	54.0%	42.7	20.9	0	0	58	116	0	89.4%	*
		常勤	6		41	20							
		非常勤	5.2		1.7	0.9							
吉富町	医療法人けやき会 東病院		7	57.0%	37.2	15.7	0	48	0	24	0	98.1%	*
		常勤	4		34	14							
		非常勤	3		3.2	1.7							
築上町	宮部病院		3.3	30.0%	7.2	13.1	0	0	0	44	0	101.0%	0
		常勤	1		5	12							
		非常勤	2.3		2.2	1.1							
	医療法人片山医院		1	100.0%	1.2	10.9	0	0	19	0	0	4.1%	*
		常勤	1		1	9							
		非常勤	0		0.2	1.9							

※月別の件数に1件~9件の数値がある場合、「*」表記

12. 医療介護資源の状況 (日医総研ワーキングペーパー(2023年4月第6版))

●【地域の概要】

一人当たり医療費(国保):415千円(偏差値59)

一人当たり介護給付費:250千円(偏差値46)

●【医療の現状】

病院数:14、人口10万人当たり7.6(偏差値53)

診療所数:154、人口10万人当たり84(偏差値51)

総医師数:401、人口10万人当たり219(偏差値41)

専門医数

小児科:6、人口10万人当たり3.3(偏差値34)

産婦人科:5、人口10万人当たり2.7(偏差値35)

総合内科:11、人口10万人当たり6.0(偏差値34)

看護師数:1,912、人口10万人当たり1,043(偏差値54)

●【介護施設や在宅ケアの現状】

高齢者施設・住宅定員数:3,569、75歳以上1,000人当たり116(偏差値62)

(うち、介護保険施設定員:2,102、75歳以上1,000人当たり68(偏差値59)

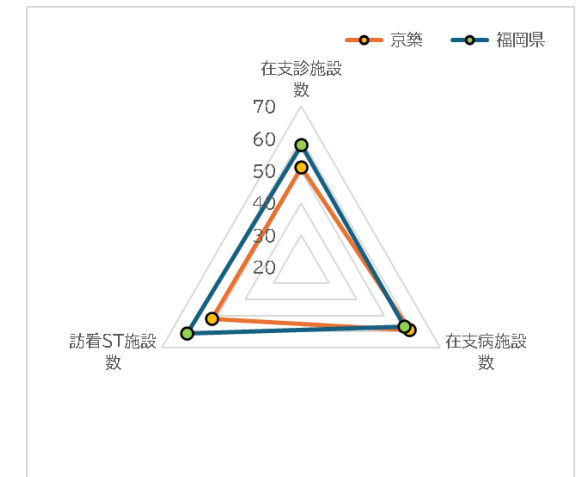
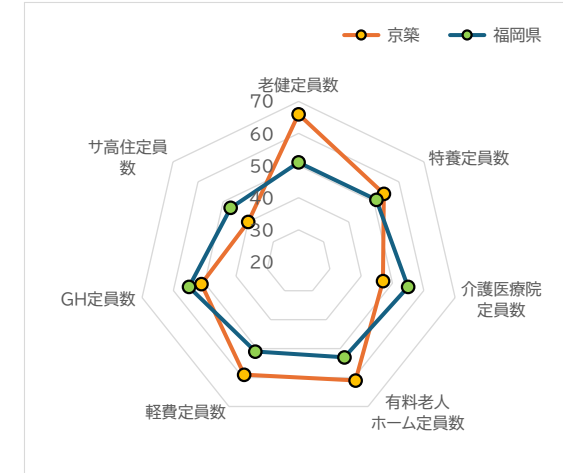
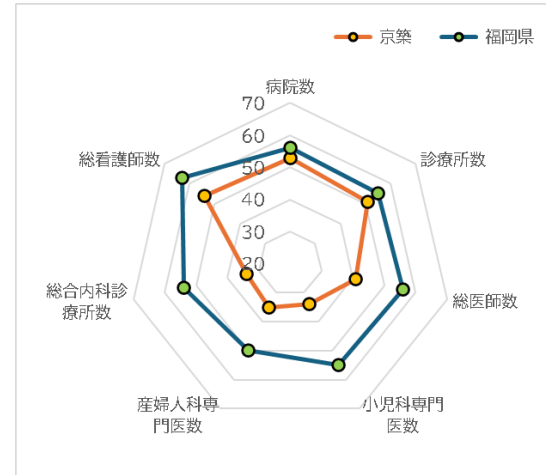
(うち、高齢者住宅定員:1,467、75歳以上1,000人当たり48(偏差値55)

介護職員数:2,252、75歳以上1,000人当たり73(偏差値52)

施設別定員数:老健施設906(偏差値66)、特養1,121(偏差値54)、介護医療院35(偏差値47)

(75歳以上1,000人当たり)有料24.3(偏差値61)、軽費3.3(偏差値59)、GH12.3(偏差値51)、サ高住8(偏差値40)

在宅ケア(施設数):在支診26(偏差値51)、在支病5(偏差値59)、訪看ST25(偏差値52)



12. 医療介護資源の状況 (厚生労働省「医療施設調査」)

●医療施設数(病院、一般診療所H28→R5推移)(在宅療養支援診療所H26→R5推移)(訪問看護STはH29→R7推移)

医療施設数等	病院	一般診療所		在宅療養支援診療所	訪問看護ステーション
福岡県	461 → 453	4,654 → 4,806	866 → 767	493 → 1,086	
直方・鞍手	12 → 12	103 → 100	19 → 18	11 → 25	
田川	16 → 16	108 → 113	17 → 17	24 → 47	
北九州	102 → 101	1,062 → 1,044	211 → 180	102 → 234	
京築	15 → 14	160 → 157	30 → 22	24 → 37	

出所:病院、診療所数は厚生労働省「医療施設調査(動態)(平成28年10月1日現在)」、「医療施設調査(静態・動態)(令和5年10月1日現在)」

出所:在宅療養支援診療所数は厚生労働省「医療施設調査(静態・動態)(平成26年、令和5年10月1日現在)」

出所:訪問看護ステーション数は県医療指導課データ

※1 在宅療養支援診療所数は、平成26年4月、令和5年4月現在診療報酬施設基準による

※2 訪問看護ステーションは、平成29年4月1日現在、令和7年7月1日現在の介護保険法に基づく指定数

●市町別医療施設数(病院、一般診療所H28→R5推移)

	病院数		一般診療所数	
	平成28年	令和5年	平成28年	令和5年
行橋市	6 →	6	57 →	56
豊前市	2 →	2	31 →	29
苅田町	4 →	3	26 →	27
みやこ町	1 →	1	16 →	14
吉富町	1 →	1	9 →	10
上毛町	- →	-	8 →	8
築上町	1 →	1	13 →	13
京築	15 →	14	160 →	157

●小児科標榜医療機関数(H26→R2推移)

	医療機関数			小児人口10万人対
	病院	診療所	医療機関数	医療機関数
福岡県	361 → 361	96 → 97	265 → 264	53.4 → 55.9
直方・鞍手	10 → 11	3 → 3	7 → 8	74.3 → 86.4
田川	10 → 9	6 → 5	4 → 4	62.7 → 62.5
北九州	71 → 72	24 → 26	47 → 46	52.1 → 65.8
京築	9 → 10	2 → 3	7 → 7	37.3 → 43.4

出所:「医療施設調査」(平成26年、令和2年)

※診療所は、「小児科が主たる診療科」+「小児科単科」。

●分娩取扱医療機関数(H26→R5推移)

医療施設数等	病院	診療所
福岡県	34 → 28	88 → 63
直方・鞍手	0 → 0	1 → 1
田川	2 → 2	0 → 0
北九州	10 → 8	18 → 9
京築	0 → 0	4 → 3

出所:厚生労働省「医療施設調査(静態・動態)(各年10月1日現在)」(平成26年、令和5年)による

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)※令和2年10月

二次医療圏	総看護師数	人口 10万人当たり	病院 看護師数	人口 10万人当たり	診療所 看護師数	人口 10万人当たり
福岡・糸島	20,608	1,204	15,650	915	4,958	290
粕屋	3,095	1,057	2,496	852	599	204
宗像	1,595	972	1,200	731	395	241
筑紫	3,520	801	2,567	584	953	217
朝倉	862	1,054	652	797	210	257
久留米	6,953	1,535	5,552	1,226	1,401	309
八女・筑後	1,831	1,415	1,407	1,087	424	327
有明	3,687	1,742	2,927	1,383	760	359
飯塚	2,903	1,661	2,340	1,340	562	322
直方・鞍手	1,234	1,178	952	909	282	270
田川	1,784	1,512	1,377	1,167	407	345
北九州	16,061	1,500	12,881	1,203	3,179	297
京築	1,912	1,043	1,379	752	533	291
福岡県	66,044	1,286	51,381	1,001	14,663	286
全国	1,164,671	923	918,226	728	246,444	195

出典：厚生労働省「令和2年医療施設静態調査」

・総看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、京築区域は、県全体よりも少ないものの、全国よりは多い状況となっている

・勤務場所別で見ると、人口10万人当たり病院看護師は、県全体より少なく、全国より多い状況となっている

・人口10万人当たり診療所看護師は、県全体、全国より多いという状況である

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー(2023年4月第6版)）

●介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)※令和4年5月 常勤換算

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	75歳以上 1,000人当たり	看護師数 (施設)	75歳以上 1,000人当たり	看護師数 (訪問)	75歳以上 1,000人当たり
福岡・糸島	2,649	14.4	1,415	7.7	1235	6.7
粕屋	557	16.8	445	13.4	112	3.4
宗像	227	9.5	162	6.8	65	2.7
筑紫	498	9.8	269	5.3	228	4.5
朝倉	151	10.8	114	8.2	37	2.6
久留米	796	11.9	416	6.2	380	5.7
八女・筑後	256	11.7	174	8.0	82	3.8
有明	469	11.5	360	8.9	109	2.7
飯塚	370	12.7	255	8.8	115	3.9
直方・鞍手	307	15.6	194	9.8	114	5.8
田川	394	17.4	220	9.7	175	7.7
北九州	1,883	10.5	1,179	6.6	704	3.9
京築	394	12.9	294	9.6	101	3.3
福岡県	8,952	12.5	5,497	7.7	3455	4.8
全国	188,635	10.1	119,762	6.4	68873	3.7

出典：厚生労働省「介護サービス情報公表システム」(令和4年5月)

・介護サービス従事看護師数の75歳以上1,000人当たり人数を見ると、京築区域は、県全体よりもやや多く、全国よりも多い状況となっている

・75歳以上1,000人当たり従事者数を勤務場所別で見ると、介護施設は9.6人と県全体、全国よりも多い状況となっている

・訪問看護は、3.3人と県全体、全国よりも少ない状況となっている

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）※令和4年5月 常勤換算

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員数	75歳以上 1,000人当たり	介護職員数 (介護施設等)	75歳以上 1,000人当たり	介護職員数 (在宅)	75歳以上 1,000人当たり
福岡・糸島	16,014	87.0	13,038	71.0	2976	16.2
粕屋	2,315	70.0	2,038	62.0	277	8.4
宗像	1,758	74.0	1,559	66.0	199	8.4
筑紫	3,653	72.0	3,131	62.0	523	10.3
朝倉	1282	92.0	1226	88.0	56	4.0
久留米	6,182	93.0	5,517	83.0	665	10.0
八女・筑後	2,199	101.0	1,964	90.0	235	10.8
有明	3,884	96.0	3,376	83.0	508	12.5
飯塚	2,833	97.0	2,361	81.0	472	16.2
直方・鞍手	2,005	102.0	1753	89.0	252	12.8
田川	3,189	141.0	2,600	115.0	588	26.0
北九州	15,195	84.0	12,896	72.0	2299	12.8
京築	2,565	84.0	2,252	73.0	313	10.2
福岡県	63,075	88.0	53,711	75.0	9364	13.1
全国	1,556,622	84.0	1,327,531	71.0	229090	12.3

出典：厚生労働省「介護サービス情報公表システム」（令和4年5月）

・介護サービス従事介護職員数の75歳以上1,000人当たり人数を見ると、京築区域は、県全体よりも少なく、全国と同等の状況となっている

・75歳以上1,000人当たり人数を勤務場所別で見ると、介護施設等は73.0人と県全体よりも少なく、全国よりも多い状況となっている

在宅については、10.2人と県全体、全国よりも少ない状況となっている

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（「衛生行政報告例」）

●就業場所別の看護師数

福岡県	看護師								
	実数	人口10万人 当たり	割合	就業場所別 二次医療圏ごとの就業場所別人数(斜体)は推計値					
				病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保険 施設等	社会福祉 施設	その他
	65,134	1,273.1		47,399	9,078	3,126	3,279	419	1,833
福岡・糸島	20,818	1,202.5	32.0%	15,150	2,901	999	1,048	134	586
粕屋	3,176	1,083.5	4.9%	2,311	443	152	160	20	89
宗像	1,740	1,050.4	2.7%	1,266	243	84	88	11	49
筑紫	3,795	859.9	5.8%	2,762	529	182	191	24	107
朝倉	871	1,079.4	1.3%	634	121	42	44	6	25
久留米	6,885	1,532.0	10.6%	5,010	960	330	347	44	194
八女・筑後	1,794	1,401.8	2.8%	1,306	250	86	90	12	50
有明	3,459	1,684.0	5.3%	2,517	482	166	174	22	97
飯塚	2,521	1,470.8	3.9%	1,835	351	121	127	16	71
直方・鞍手	1,066	1,037.8	1.6%	776	149	51	54	7	30
田川	1,378	1,207.3	2.1%	1,003	192	66	69	9	39
北九州	15,962	1,514.2	24.5%	11,616	2,225	766	804	103	449
京築	1,669	923.2	2.6%	1,215	233	80	84	11	47

・看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、京築区域は、県平均よりもかなり少ない状況となっている

・京築区域について、就業場所別に見ると、病院が最も多く、次いで診療所、介護保険施設等となっており、病院と診療所で87%を占めている

※二次医療圏ごとの就業場所別の人数(斜体)は、就業場所別の県全体の人数に看護師実数の二次医療圏ごとの割合を掛けて推計したものの

厚生労働省「衛生行政報告例」(2022(令和4)年12月31日現在)

福岡県「人口移動調査」(2022(令和4)年10月1日現在)

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（「衛生行政報告例」）

●就業場所別の准看護師数

福岡県	准看護師								
	実数	人口10万人 当たり	割合	就業場所別 二次医療圏ごとの就業場所別人数(斜体)は推計値					
				病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保険 施設等	社会福祉 施設	その他
	13,995	273.6		5,542	5,445	357	2,211	288	152
福岡・糸島	2,893	167.1	20.7%	1,146	1,126	74	457	60	31
粕屋	662	225.8	4.7%	262	258	17	105	14	7
宗像	337	203.4	2.4%	133	131	9	53	7	4
筑紫	757	171.5	5.4%	300	295	19	120	16	8
朝倉	297	368.1	2.1%	118	116	8	47	6	3
久留米	1,451	322.9	10.4%	575	565	37	229	30	16
八女・筑後	542	423.5	3.9%	215	211	14	86	11	6
有明	1,198	583.2	8.6%	474	466	31	189	25	13
飯塚	786	458.6	5.6%	311	306	20	124	16	9
直方・鞍手	534	519.9	3.8%	211	208	14	84	11	6
田川	807	707.0	5.8%	320	314	21	127	17	9
北九州	3,014	285.9	21.5%	1,194	1,173	77	476	62	33
京築	717	396.6	5.1%	284	279	18	113	15	8

・准看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、京築区域は、県平均よりも多い状況となっている

・京築区域について、就業場所別に見ると、病院が最も多く、次いで診療所、介護保険施設等となっており、病院と診療所で79%を占めている

※二次医療圏ごとの就業場所別の人数(斜体)は、就業場所別の県全体の人数に看護師実数の二次医療圏ごとの割合を掛けて推計したものの

厚生労働省「衛生行政報告例」(2022(令和4)年12月31日現在)

福岡県「人口移動調査」(2022(令和4)年10月1日現在)

14. 在宅医療の状況

福岡県在宅療養支援診療所等調査(高齢者地域包括ケア推進課)

【調査対象】

九州厚生局に在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料の届出を行っている施設

【調査時期】

毎年5月～7月頃

【回収状況】

令和5年度回答率94.9%

令和7年度回答率97.0%

【項目の説明】

訪問診療:調査対象月1ヶ月間の訪問診療患者数(医療機関所在地ベース)の実数

小児:調査対象月1ヶ月間の19歳以下の訪問診療患者数(医療機関所在地ベース)の実数

在宅看取り:調査前年度1年間の在宅看取り(施設看取り含む)患者数(医療機関所在地ベース)の実数

14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

●在宅医療機関数

	R5年度				R7年度				R5年度→R7年度の推移				今後の意向 ※R5年度調査		
	医療機関数	患者数			医療機関数	患者数			医療機関数の増減	患者数			現在より積極的に取り組みたい	現状維持	今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定
		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り			
福岡・糸島	401	17,824	210	2,456	423	21,874	333	2,790	22	4,050	123	334	101	193	20
粕屋	50	1,154	0	249	50	1,167	12	192	0	13	12	-57	12	26	4
宗像	32	1,421	27	272	32	1,531	46	228	0	110	19	-44	6	20	1
筑紫	69	2,719	7	408	73	3,675	16	623	4	956	9	215	23	32	5
朝倉	37	571	7	79	36	728	12	97	-1	157	5	18	13	22	2
久留米	160	3,627	48	924	158	4,311	81	923	-2	684	33	-1	31	89	8
八女・筑後	45	779	2	318	45	849	1	243	0	70	-1	-75	8	22	4
有明	73	1,595	1	322	72	1,661	5	280	-1	66	4	-42	17	41	2
飯塚	40	1,715	13	485	43	1,959	23	423	3	244	10	-62	10	22	4
直方・鞍手	35	1,355	0	190	34	1,308	1	249	-1	-47	1	59	6	18	2
田川	28	931	0	74	33	1,296	2	72	5	365	2	-2	6	16	2
北九州	323	9,453	20	1,888	329	12,153	122	2,110	6	2,700	102	222	61	165	25
京築	36	810	4	336	35	1,087	9	314	-1	277	5	-22	2	28	3
総数	1,329	43,954	339	8,001	1,363	53,599	663	8,544	34	9,645	324	543	296	694	82

・京築区域の令和5年度調査による在宅医療への今後の意向は、「現在より積極的に取り組みたい」が2件、「現状維持」が28件、「今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定」が3件という結果であり、令和5年度から7年度の推移を見ると、医療機関数は1件減少し、ほぼ現状維持となっているが、訪問診療患者数は増加している

14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

●在宅医療に従事する医師数(R7年度)

	医師数				医師の年齢別											
	常勤	非常勤 (常勤換算)	常勤+常勤 換算数		29歳以下		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
福岡・糸島	849	531	89.1	620.1	7	(0.8%)	140	(16.5%)	203	(23.9%)	195	(23.0%)	175	(20.6%)	129	(15.2%)
粕屋	74	60	9.6	69.6	0	(0.0%)	3	(4.1%)	10	(13.5%)	30	(40.5%)	24	(32.4%)	7	(9.5%)
宗像	68	40	6.4	46.4	1	(1.5%)	5	(7.4%)	16	(23.5%)	26	(38.2%)	16	(23.5%)	4	(5.9%)
筑紫	178	100	18.5	118.5	5	(2.8%)	24	(13.5%)	52	(29.2%)	44	(24.7%)	33	(18.5%)	20	(11.2%)
朝倉	80	50	5.6	55.6	2	(2.5%)	13	(16.3%)	22	(27.5%)	11	(13.8%)	16	(20.0%)	16	(20.0%)
久留米	234	188	15.6	203.6	1	(0.4%)	19	(8.1%)	58	(24.8%)	55	(23.5%)	56	(23.9%)	45	(19.2%)
八女・筑後	81	63	13.0	76.0	1	(1.2%)	9	(11.1%)	18	(22.2%)	16	(19.8%)	24	(29.6%)	13	(16.0%)
有明	124	95	9.1	104.1	1	(0.8%)	10	(8.1%)	23	(18.5%)	19	(15.3%)	34	(27.4%)	37	(29.8%)
飯塚	101	56	10.0	66.0	1	(1.0%)	37	(36.6%)	18	(17.8%)	11	(10.9%)	17	(16.8%)	17	(16.8%)
直方・鞍手	46	37	2.7	39.7	0	(0.0%)	7	(15.2%)	9	(19.6%)	9	(19.6%)	12	(26.1%)	9	(19.6%)
田川	50	36	7.6	43.6	0	(0.0%)	4	(8.0%)	7	(14.0%)	16	(32.0%)	11	(22.0%)	12	(24.0%)
北九州	551	362	50.7	412.7	8	(1.5%)	78	(14.2%)	103	(18.7%)	127	(23.0%)	131	(23.8%)	104	(18.9%)
京築	81	48	6.7	54.7	0	(0.0%)	16	(19.8%)	18	(22.2%)	13	(16.0%)	17	(21.0%)	17	(21.0%)
総数	2,517	1,666	244.6	1,910.6	27	(1.1%)	365	(14.5%)	557	(22.1%)	572	(22.7%)	566	(22.5%)	430	(17.1%)

・在宅医療を行う医師の年齢別割合を見ると、京築区域では、「40~49歳」が22.2%で最も高く、次いで「60~69歳」、「70歳以上」がいずれも21.0%となっている

・今後、老年人口が増えていき、ますます在宅医療への需要が高まることが見込まれる中、現在の年齢構成を考えた際、10年後、20年後に体制を維持することが出来るのか、検討をする必要があるのではないか

14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

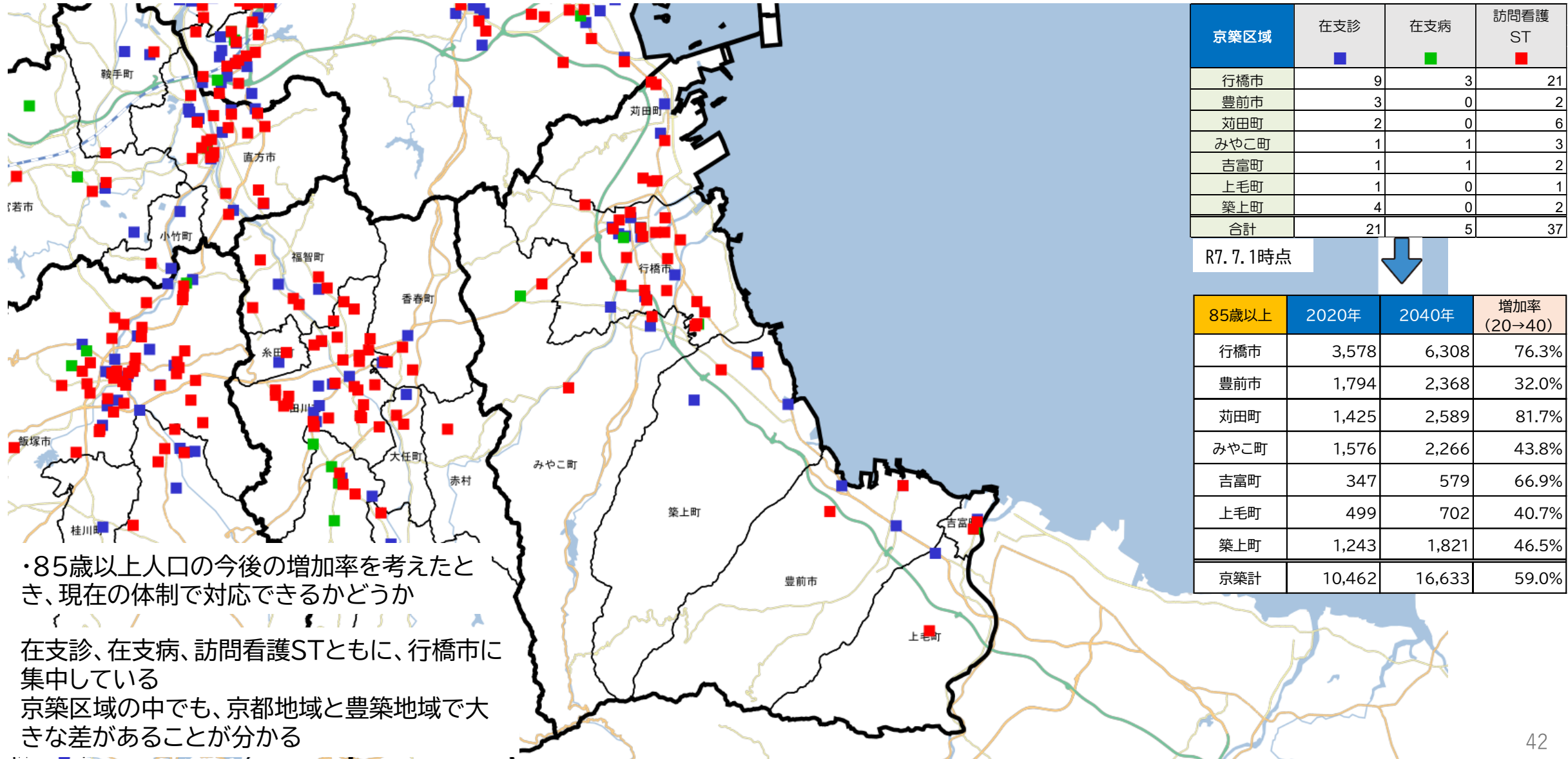
●在宅医療機関数(市町別)

	R5年度				R7年度				R5年度→R7年度の推移			今後の意向 ※R5年度調査			
	医療機関数	患者数			医療機関数	患者数			医療機関数の増減	患者数			現在より積極的に取り組みたい	現状維持	今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定
		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り			
行橋市	15	399	4	253	14	513	9	189	-1	114	5	-64	1	11	2
豊前市	4	29	0	5	4	25	0	7	0	-4	0	2	0	4	0
苅田町	3	73	0	5	3	86	0	5	0	13	0	0	0	2	0
みやこ町	5	38	0	7	5	50	0	5	0	12	0	-2	1	2	1
吉富町	3	83	0	38	3	109	0	50	0	26	0	12	0	3	0
上毛町	2	14	0	21	2	16	0	3	0	2	0	-18	0	2	0
築上町	4	174	0	7	4	288	0	55	0	114	0	48	0	4	0
京築	36	810	4	336	35	1,087	9	314	-1	277	5	-22	2	28	3

●在宅医療に従事する医師数(R7年度)(市町別)

	医師数				医師の年齢別											
	常勤	非常勤 (常勤換算)	常勤+非常勤 換算数		29歳以下		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
行橋市	28	19	3.2	22.2	0	(0.0%)	5	(17.9%)	4	(14.3%)	8	(28.6%)	6	(21.4%)	5	(17.9%)
豊前市	5	5	0.0	5.0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(20.0%)	0	(0.0%)	1	(20.0%)	3	(60.0%)
苅田町	3	3	0.0	3.0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)	2	(66.7%)
みやこ町	6	4	0.4	4.4	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(33.3%)	0	(0.0%)	3	(50.0%)	1	(16.7%)
吉富町	29	7	3.1	10.1	0	(0.0%)	10	(34.5%)	10	(34.5%)	3	(10.3%)	2	(6.9%)	4	(13.8%)
上毛町	2	2	0.0	2.0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)	0	(0.0%)
築上町	8	8	0.0	8.0	0	(0.0%)	1	(12.5%)	1	(12.5%)	2	(25.0%)	2	(25.0%)	2	(25.0%)
京築	81	48	6.7	54.7	0	(0.0%)	16	(19.8%)	18	(22.2%)	13	(16.0%)	17	(21.0%)	17	(21.0%)

14. 在宅医療の状況 (在支診、在支病、訪問看護STの位置)



京築区域	在支診 ■	在支病 ■	訪問看護 ST ■
行橋市	9	3	21
豊前市	3	0	2
苅田町	2	0	6
みやこ町	1	1	3
吉富町	1	1	2
上毛町	1	0	1
築上町	4	0	2
合計	21	5	37

R7. 7.1時点



85歳以上	2020年	2040年	増加率 (20→40)
行橋市	3,578	6,308	76.3%
豊前市	1,794	2,368	32.0%
苅田町	1,425	2,589	81.7%
みやこ町	1,576	2,266	43.8%
吉富町	347	579	66.9%
上毛町	499	702	40.7%
築上町	1,243	1,821	46.5%
京築計	10,462	16,633	59.0%

・85歳以上人口の今後の増加率を考えたとき、現在の体制で対応できるかどうか

在支診、在支病、訪問看護STともに、行橋市に集中している
 京築区域の中でも、京都地域と豊築地域で大きな差があることが分かる

15. 看護職員の状況

看護職員確保に係る実態調査(医療指導課医師・看護職員確保対策室)

【調査対象】

(1)施設調査:6,451施設

病院(451)、診療所(4,205)、訪問看護ステーション(984)、介護老人保健施設(173)、介護老人福祉施設(439)、介護医療院(55)、障がい児者施設(施設入所・療養介護)(144)、その他(無回答含む)(48)

(2)看護職員調査:10,208人

上記施設に勤務する看護職員

【調査方法】

対象施設に郵送により依頼し、ふくおか電子申請サービスにて回答

【調査時期】

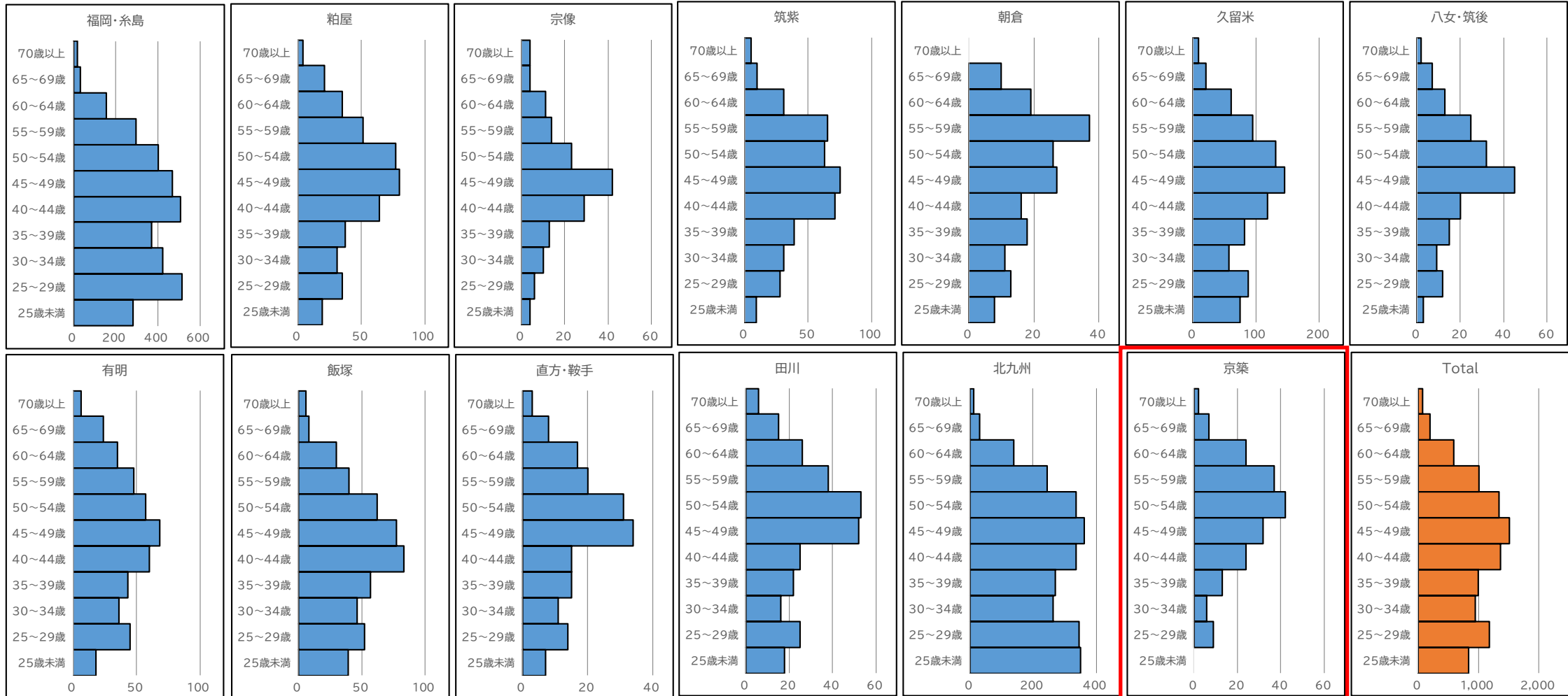
令和6年11月18日(月)～12月13日(金)

【回収状況】

施設2,201件(回収率34.1%)／看護職員回収10,208人

15. 看護職員の状況 (医療指導課医師・看護職員確保対策室「看護職員確保に係る実態調査」)

●二次医療圏・年齢階級別看護師数



- ・京築区域の年齢構成ピラミッドを見ると、30代前半以下の層が極端に少ない状況になっており、他の区域と比べても、その状況がわかる
- ・看護師確保の困難さが言及されているなか、このままの年齢構成で10~20年後を考えた際、医療提供体制を維持できるか

16. 二次医療圏の人口及び流入流出患者割合・比較表 (厚生労働省「患者調査-二次医療圏編」)

二次医療圏	人口				推計流入患者割合			推計流出患者割合		
	H28.8.1時点	R5.8.1時点	差	(増減割合)	H26調査	R5調査	差	H26調査	R5調査	差
福岡・糸島	1,648,241	1,740,857	92,616	(5.32%)	19.1	21.8	2.7	13.2	12.4	▲ 0.8
粕屋	285,000	292,622	7,622	(2.60%)	44.9	42.1	▲ 2.8	39.1	41.1	2.0
宗像	156,744	165,602	8,858	(5.35%)	35.3	33.5	▲ 1.8	34.7	40.9	6.2
筑紫	434,568	440,919	6,351	(1.44%)	33.5	30.6	▲ 2.9	37.2	40.6	3.4
朝倉	83,209	80,348	▲ 2,861	(▲3.56%)	21.3	22.5	1.2	42.1	30.0	▲ 12.1
久留米	455,840	447,316	▲ 8,524	(▲1.91%)	34.5	31.8	▲ 2.7	23.9	22.8	▲ 1.1
八女・筑後	132,283	127,106	▲ 5,177	(▲4.07%)	25.0	27.3	2.3	29.4	34.9	5.5
有明	220,974	202,644	▲ 18,330	(▲9.05%)	20.0	18.4	▲ 1.6	21.8	18.9	▲ 2.9
飯塚	180,023	170,014	▲ 10,009	(▲5.89%)	21.9	23.5	1.6	26.8	25.9	▲ 0.9
直方・鞍手	108,047	101,892	▲ 6,155	(▲6.04%)	25.0	25.8	0.8	36.5	40.4	3.9
田川	124,830	112,634	▲ 12,196	(▲10.83%)	21.1	27.3	6.2	22.4	28.4	6.0
北九州	1,091,345	1,046,238	▲ 45,107	(▲4.31%)	8.2	9.0	0.8	7.7	7.3	▲ 0.4
京築	184,053	179,800	▲ 4,253	(▲2.37%)	20.3	20.2	▲ 0.1	33.2	28.4	▲ 4.8
福岡県	5,105,157	5,107,992	2,835	(0.06%)	21.5	22.0	0.5	20.4	20.5	0.1

京築区域は、H28年からR5年7年間で人口が4,253人減少(2.4%減)している

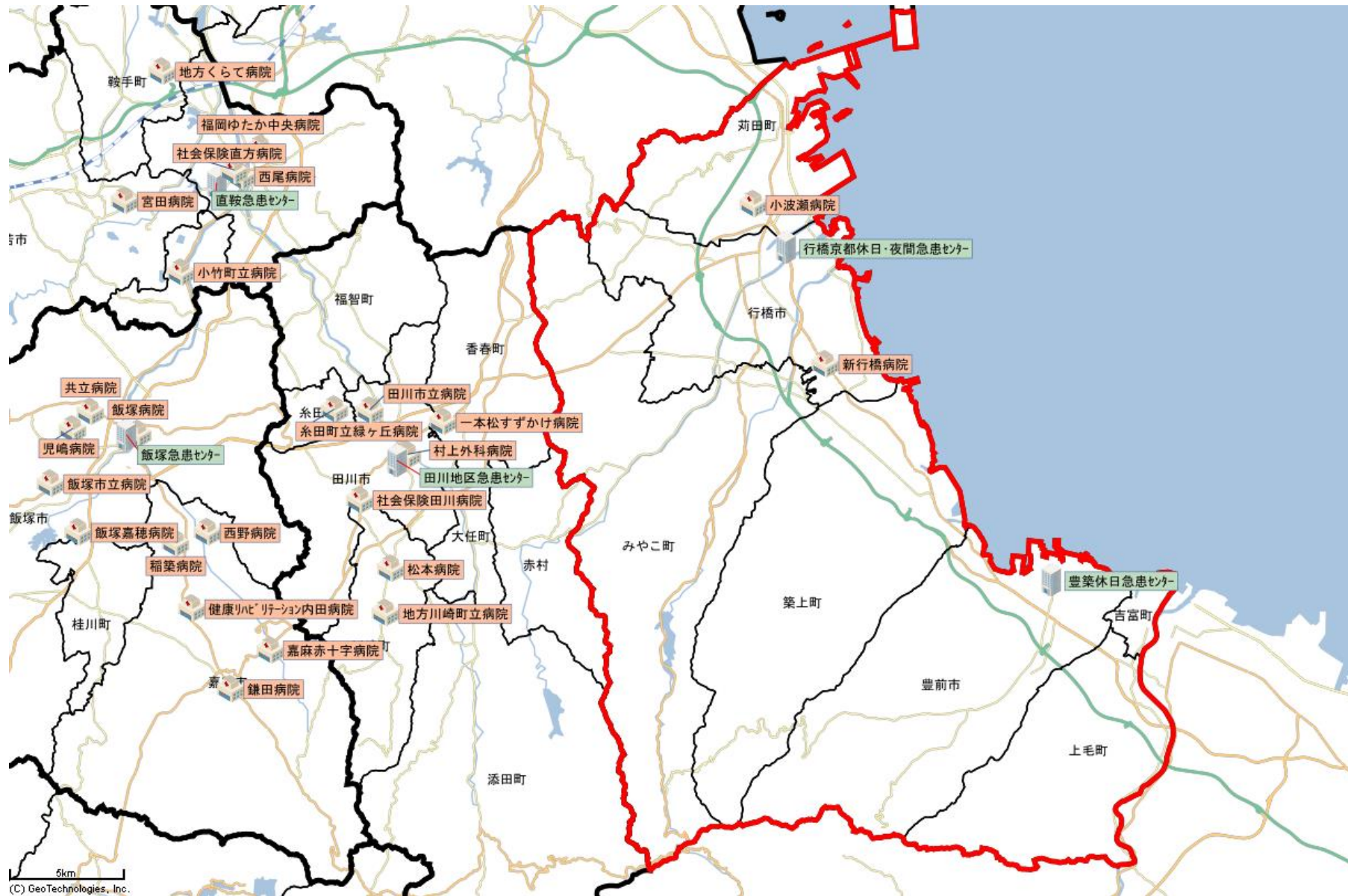
この7年間で推計流入患者割合は0.1ポイント減少、推計流出患者割合は4.8ポイント減少しており、流出傾向が若干小さくなっている状況が見られる

※ 人口:福岡県人口移動調査「福岡県の人口と世帯(推計)」(平成28年8月1日現在、令和5年8月1日現在)

※ 推計流入患者割合、推計流出患者割合:厚生労働省「患者調査」(平成26年10月、令和5年10月)

病院の推計入院患者数の圏内への流入患者割合・圏外への流出患者割合、二次医療圏内・二次医療圏外が不詳の者を推計患者数から除いて算出

17. 二次救急及び急患センターの位置(隣接区域含む)

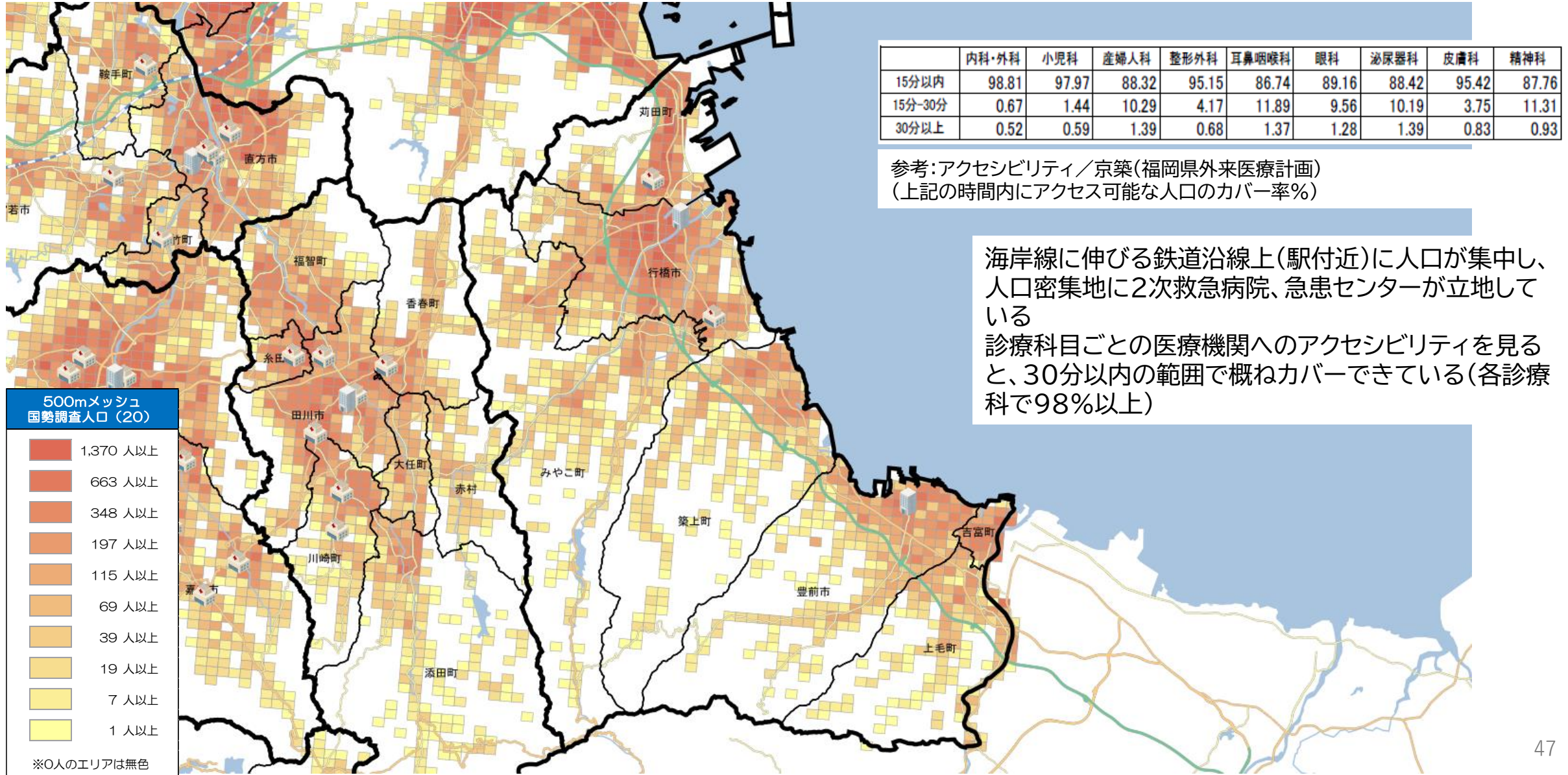


・京築医療圏は、北は北九州医療圏、西は田川医療圏、南は大分県北部医療圏と接している

・医療の状況を見ると、京築医療圏内には、2つの二次救急(新行橋病院<行橋市>、小波瀬病院<苅田町>)と、2つの急患センター(行橋京都休日・夜間急患センター、豊前築上休日急患センター)がある

・隣接する北九州市小倉南区には、2つの二次救急(小倉医療センター、九州労災病院)があり、大分県中津市には、中津市民病院がある

18. 人口メッシュ(500m) (2020年(令和2年)「国勢調査」)



	内科・外科	小児科	産婦人科	整形外科	耳鼻咽喉科	眼科	泌尿器科	皮膚科	精神科
15分以内	98.81	97.97	88.32	95.15	86.74	89.16	88.42	95.42	87.76
15分-30分	0.67	1.44	10.29	4.17	11.89	9.56	10.19	3.75	11.31
30分以上	0.52	0.59	1.39	0.68	1.37	1.28	1.39	0.83	0.93

参考:アクセシビリティ/京築(福岡県外来医療計画)
(上記の時間内にアクセス可能な人口のカバー率%)

海岸線に伸びる鉄道沿線上(駅付近)に人口が集中し、人口密集地に2次救急病院、急患センターが立地している
診療科目ごとの医療機関へのアクセシビリティを見ると、30分以内の範囲で概ねカバーできている(各診療科で98%以上)

**500mメッシュ
国勢調査人口(20)**

- 1,370人以上
- 663人以上
- 348人以上
- 197人以上
- 115人以上
- 69人以上
- 39人以上
- 19人以上
- 7人以上
- 1人以上

※0人のエリアは無色

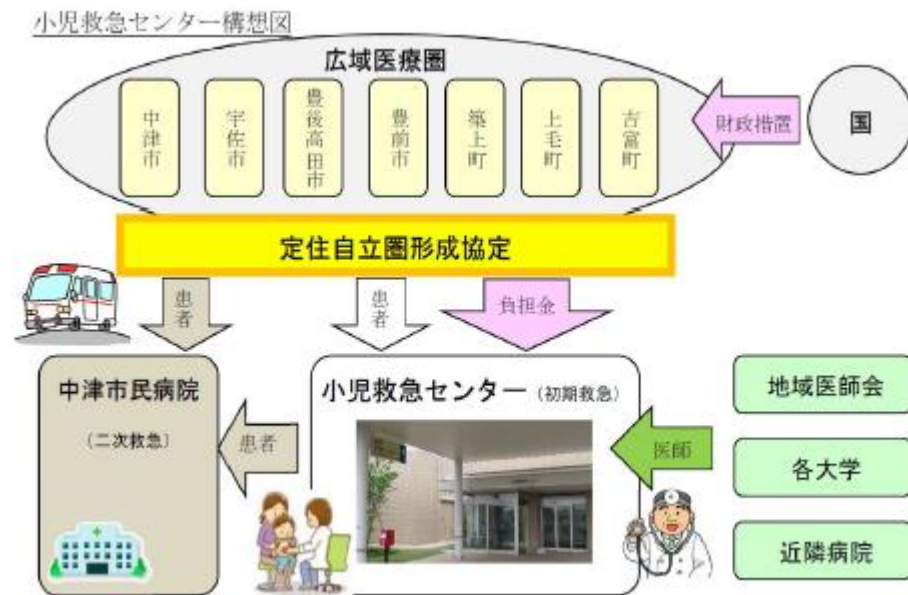
19. (参考)九州周防灘地域定住自立圏

九州周防灘地域定住自立圏

(構成市町:中津市、宇佐市、豊後高田市、豊前市、築上町、上毛町、吉富町)

平成21年4月30日に中津市が「中心市宣言」を行い、定住自立圏構想のもと、通勤・通学圏、医療圏、商圈等の状況を踏まえ、平成21年11月2日に宇佐市・豊後高田市・豊前市・築上町・上毛町と、令和2年1月17日に吉富町とそれぞれ1対1で協定を締結し、近隣3市3町とともに「九州周防灘地域定住自立圏」を形成

【具体的な取組:小児救急医療体制の確保】



〔概要〕

圏域で中津市立小児救急センターの安定的運営を維持

〔圏域の役割分担〕

中津市立小児救急センターは、子どもの夜間・休日の初期救急を行う診療所として独自で運営
圏域自治体は、小児救急センターの運営に伴う費用を、患者数に応じて負担

〔事業内容〕

- ・小児救急センター支援事業(全自治体)
- ・医療機関検索システム運用事業(全自治体)

20. 救急搬送の状況① (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	年齢区分					居住地		
		新生児(人、割合)	乳幼児(人、割合)	少年(人、割合)	成年(人、割合)	高齢者(人、割合)	管内(人、割合)	管外(人、割合)	その他(人、割合)
行橋市消防本部	3,057	12 (0.4%)	155 (5.1%)	88 (2.9%)	802 (26.2%)	2,000 (65.4%)	2,705 (88.5%)	346 (11.3%)	6 (0.2%)
苅田町消防本部	1,537	1 (0.1%)	78 (5.1%)	57 (3.7%)	570 (37.1%)	831 (54.1%)	1,261 (82.0%)	275 (17.9%)	1 (0.1%)
京築広域圏消防本部	3,904	2 (0.1%)	145 (3.7%)	120 (3.1%)	808 (20.7%)	2,829 (72.5%)	3,517 (90.1%)	380 (9.7%)	7 (0.2%)
京築区域計	8,498	15 (0.2%)	378 (4.4%)	265 (3.1%)	2,180 (25.7%)	5,660 (66.6%)	7,483 (88.1%)	1,001 (11.8%)	14 (0.2%)
福岡県	254,728	687 (0.3%)	10,824 (4.2%)	8,654 (3.4%)	75,536 (29.7%)	159,027 (62.4%)	235,856 (92.6%)	17,854 (7.0%)	1,018 (0.4%)

	初診医診断						軽傷に占める 高齢者数(人、割合)
	死亡(人、割合)	重篤(人、割合)	重症(人、割合)	中等症(人、割合)	軽症(人、割合)	その他(人、割合)	
行橋市消防本部	41 (1.3%)	0 (0.0%)	139 (4.5%)	1,634 (53.5%)	1,243 (40.7%)	0 (0.0%)	719 (57.8%)
苅田町消防本部	23 (1.5%)	0 (0.0%)	56 (3.6%)	732 (47.6%)	726 (47.2%)	0 (0.0%)	304 (41.9%)
京築広域圏消防本部	68 (1.7%)	2 (0.1%)	259 (6.6%)	2,199 (56.3%)	1,376 (35.2%)	0 (0.0%)	849 (61.7%)
京築区域計	132 (1.6%)	2 (0.0%)	454 (5.3%)	4,565 (53.7%)	3,345 (39.4%)	0 (0.0%)	1,872 (56.0%)
福岡県	1,573 (0.6%)	8 (0.0%)	13,146 (5.2%)	138,915 (54.5%)	100,911 (39.6%)	175 (0.1%)	48,147 (47.7%)

- ・搬送人員を年齢区分別に見ると、京築区域、県ともに高齢者の割合が高い
→ 京築66.6%、県62.4%
- ・症状別に見ると、京築区域は県に比べて大きな差はない
- ・「軽症に占める高齢者の割合」は、京築区域は県に比べて8ポイントほど高い
→ 京築56.0%、県47.7%

20. 救急搬送の状況② (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	うち 高齢者 (人)	高齢者の発生場所							
			住宅 (人、割合)	公衆出入の場所(人、割合)			仕事場 (人、割合)	道路 (人、割合)	その他 (人、割合)	
				うち病院・病床数 20以上の医療機関 (人、割合)	うち病床数19以下 の診療所、医院 (人、割合)	うち老人ホーム、老 人保健施設等の老 人の収容施設 (人、割合)				
行橋市消防本部	3,057	2,000	1,296 (64.8%)	558 (27.9%)	144 (7.2%)	60 (3.0%)	271 (13.6%)	14 (0.7%)	112 (5.6%)	20 (1.0%)
苅田町消防本部	1,537	831	572 (68.8%)	184 (22.1%)	26 (3.1%)	23 (2.8%)	102 (12.3%)	9 (1.1%)	57 (6.9%)	9 (1.1%)
京築広域圏消防本部	3,904	2,829	1,775 (62.7%)	832 (29.4%)	118 (4.2%)	110 (3.9%)	511 (18.1%)	17 (0.6%)	146 (5.2%)	59 (2.1%)
京築区域計	8,498	5,660	3,643 (64.4%)	1,574 (27.8%)	288 (5.1%)	193 (3.4%)	884 (15.6%)	40 (0.7%)	315 (5.6%)	88 (1.6%)
福岡県	254,728	159,027	98,559 (62.0%)	48,121 (30.3%)	11,316 (7.1%)	4,613 (2.9%)	25,245 (15.9%)	1,237 (0.8%)	10,086 (6.3%)	1,024 (0.6%)

- ・高齢者の救急搬送件数を救急要請の発生場所別に見ると、県全体、京築区域ともに、「住宅」が最も割合が高い
→京築64.4%、県62.0%
- ・次が「老人ホーム、老人保健施設等の老人の収容施設」である

20. 救急搬送の状況③ (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	収容平均所要時間 (分)	搬送決定までの連絡回数					搬送先	
			1回(人、割合)	2回(人、割合)	3回(人、割合)	4回以上(人、割合)	うち高齢者(人、割合)	管内(人、割合)	管外(人、割合)
行橋市消防本部	3,057	33.37	2,847 (93.1%)	154 (5.0%)	36 (1.2%)	20 (0.7%)	10 (50.0%)	1,501 (49.1%)	1,556 (50.9%)
苅田町消防本部	1,537	34.28	1,393 (90.6%)	100 (6.5%)	26 (1.7%)	18 (1.2%)	8 (44.4%)	988 (64.3%)	549 (35.7%)
京築広域圏消防本部	3,904	40.32	3,434 (88.0%)	331 (8.5%)	89 (2.3%)	50 (1.3%)	26 (52.0%)	19 (0.5%)	3,885 (99.5%)
京築区域計	8,498	36.73	7,674 (90.3%)	585 (6.9%)	151 (1.8%)	88 (1.0%)	44 (50.0%)	2,508 (29.5%)	5,990 (70.5%)
福岡県	246,430	37.91	196,547 (79.8%)	31,515 (12.8%)	12,679 (5.1%)	13,987 (5.7%)	9,051 (64.7%)	201,365 (81.7%)	53,363 (21.7%)

【京築区域各消防本部の主な搬送先】

(行橋市消防本部)

搬送先機関名	所在市町村	搬送人員 (人)	総計に占める割合	うち重症(%)		
				うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)
1位 新行橋病院	行橋市	1,485	48.6%	39.9%	53.5%	5.5%
2位 小波瀬病院	苅田町	974	31.9%	47.4%	46.9%	3.3%
3位 国立病院機構小倉医療センター	北九州市	130	4.3%	23.8%	72.3%	3.8%
4位 北九州総合病院(3次)	北九州市	107	3.5%	49.5%	47.7%	2.8%
5位 九州労災病院	北九州市	87	2.8%	40.2%	57.5%	2.3%
1位～5位の合計		2,783	91.0%	42.1%	52.0%	4.4%
総計		3,057	100.0%	40.7%	53.5%	4.5%

(苅田町消防本部)

搬送先機関名	所在市町村	搬送人員 (人)	総計に占める割合	うち重症(%)		
				うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)
1位 小波瀬病院	苅田町	976	63.5%	54.3%	40.2%	3.2%
2位 九州労災病院	北九州市	192	12.5%	32.3%	64.1%	3.6%
3位 新行橋病院	行橋市	110	7.2%	44.5%	48.2%	7.3%
4位 北九州総合病院	北九州市	87	5.7%	44.8%	52.9%	2.3%
5位 小倉記念病院	北九州市	41	2.7%	17.1%	82.9%	0.0%
1位～5位の合計		1,406	91.5%	48.9%	46.1%	3.4%
総計		1,537	100.0%	47.2%	47.6%	3.6%

(京築広域圏消防本部)

搬送先機関名	所在市町村	搬送人員 (人)	総計に占める割合	うち重症(%)		
				うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)
1位 新行橋病院	行橋市	2,041	52.3%	39.4%	51.8%	6.2%
2位 中津市民病院	大分県中津市	786	20.1%	23.7%	68.8%	6.1%
3位 小波瀬病院	苅田町	400	10.2%	46.0%	49.0%	3.8%
4位 川島整形外科病院	大分県中津市	83	2.1%	21.7%	55.4%	22.9%
5位 酒井病院	大分県中津市	81	2.1%	45.7%	51.9%	2.5%
1位～5位の合計		3,391	86.9%	36.3%	55.5%	6.2%
総計		3,904	100.0%	35.2%	56.3%	6.6%

・収容平均所要時間は、県全体が37.9分で、行橋市消防本部33.4分、苅田町消防本部が34.3分、京築広域圏消防本部が40.3分である

※収容平均所要時間とは、救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間

・搬送決定までの連絡回数は、1回が県79.8%、京築区域90.3%で、特に行橋市消防本部で93.1%と高くなっている

ただし、4回以上かかる人数のうち高齢者の割合は、県よりも京築区域で低い

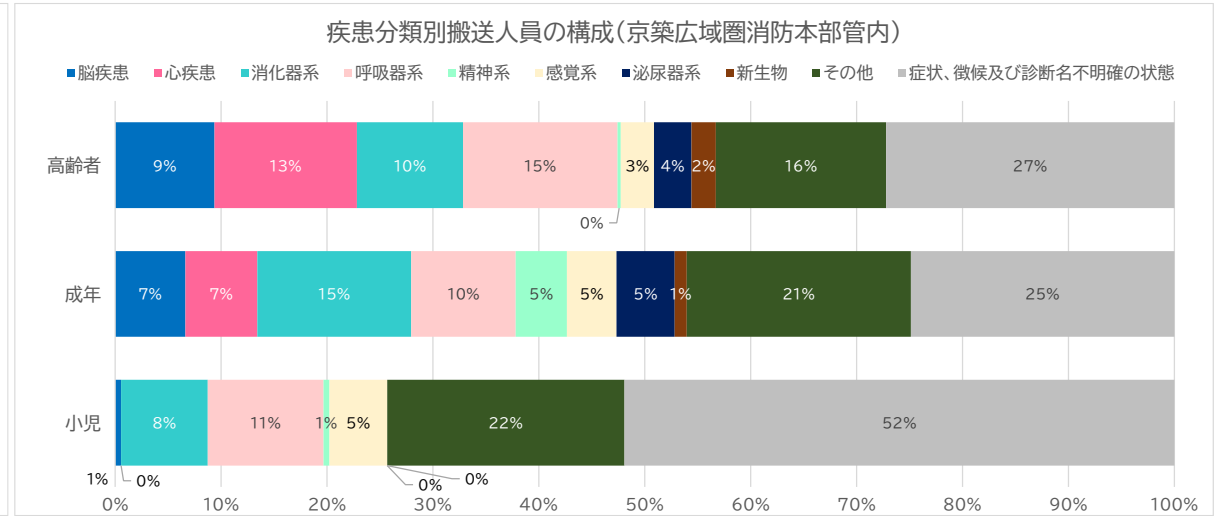
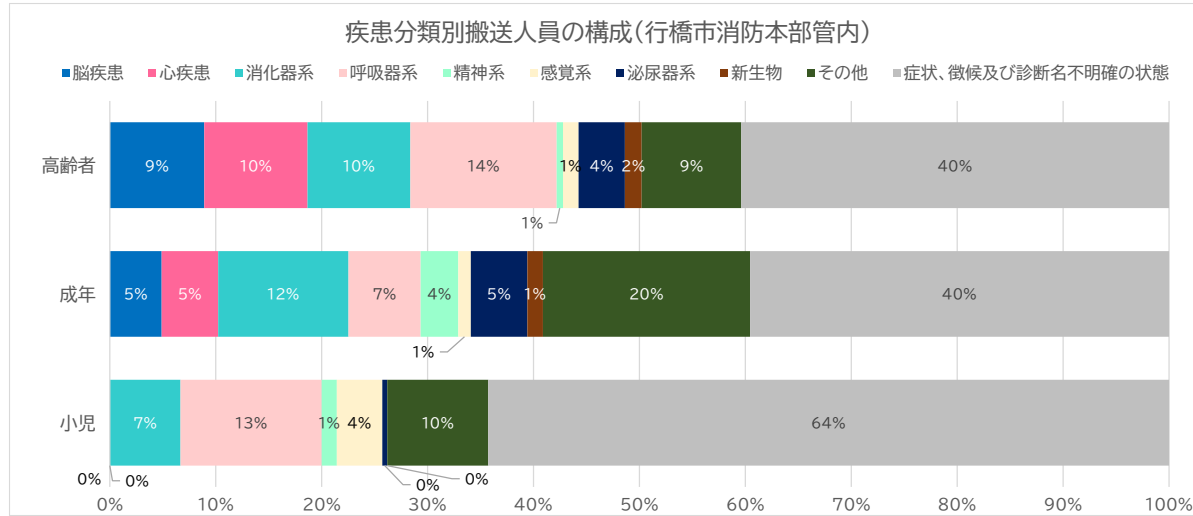
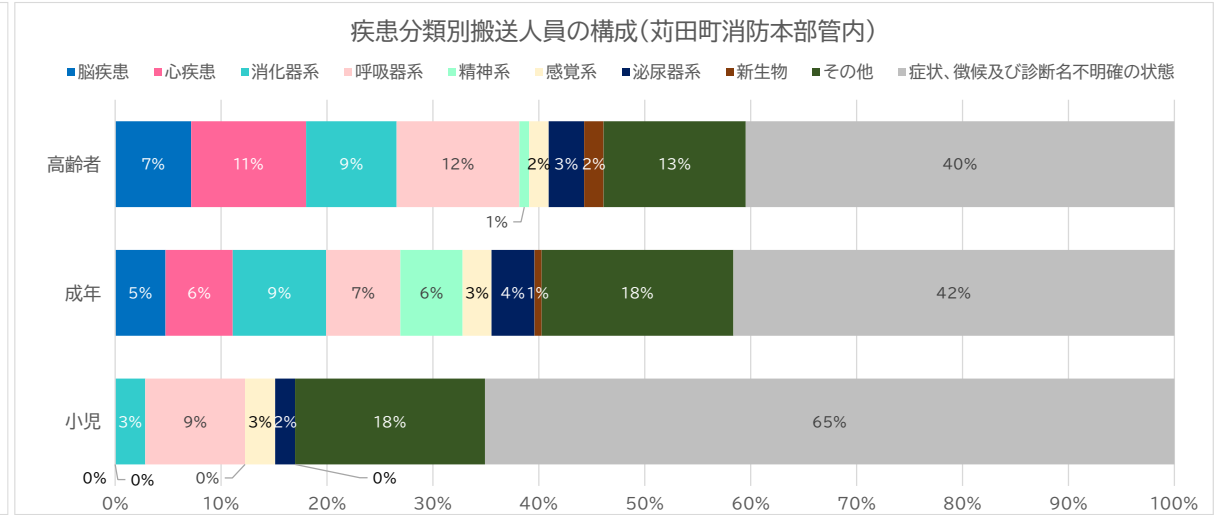
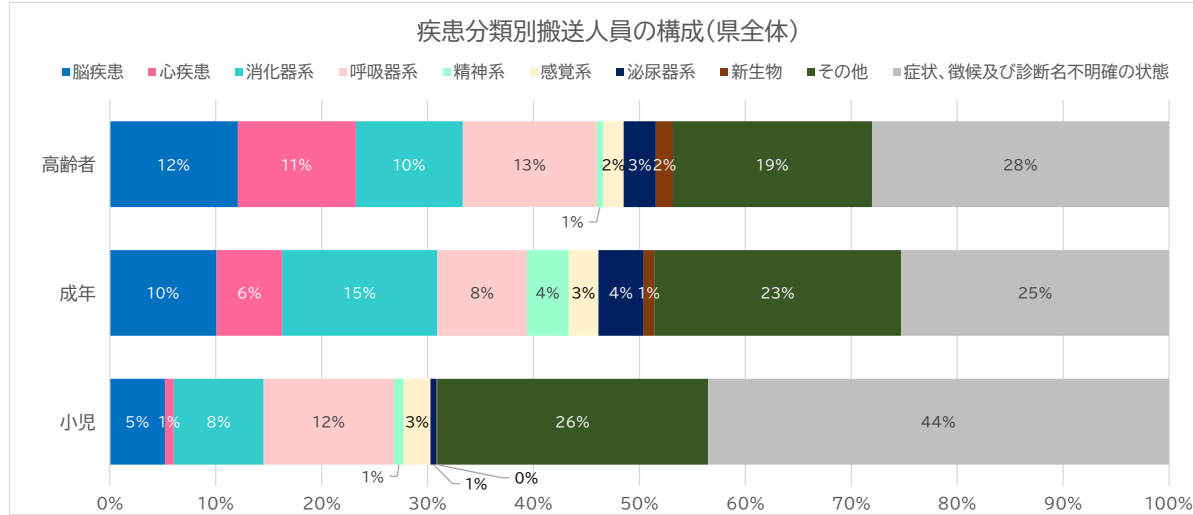
・京築区域各消防本部の主な搬送先を見ると、行橋市消防本部は、域内の「新行橋病院」、「小波瀬病院」に8割が搬送されている

苅田町消防本部は、域内の「小波瀬病院」に6割が搬送されている

京築広域圏消防本部は、域内の「新行橋病院」に5割強、域外の「中津市民病院」に2割が搬送されている

20. 救急搬送の状況④ (令和5年「福岡県消防年報」)

● 疾患分類別搬送人員の構成



20. 救急搬送の状況⑤ (令和5年「福岡県消防年報」)

- 小児(新生児、乳幼児、少年の計)に係る京築区域内の各消防本部の搬送状況 * 搬送人員が10人以上の医療機関のうち、上位3位を集計

行橋市消防本部

救急患者:255人(うち 搬送先 管内28人(11.0%)、管外227人(89.0%))

【管内】

病院名	搬送人員	総計に占める割合
1位 新行橋病院	16人	57.1%
-	-	-
-	-	-
管内総計	28人	100.0%

【管外】

病院名	所在市町村	搬送人員	総計に占める割合
1位 国立病院機構小倉医療センター	北九州市	92人	40.5%
2位 北九州総合病院	北九州市	69人	30.4%
3位 小波瀬病院	苅田町	49人	21.6%
管外総計		227人	100.0%

苅田町消防本部

救急患者:136人(うち 搬送先 管内43人(31.6%)、管外93人(68.4%))

【管内】

病院名	搬送人員	総計に占める割合
1位 小波瀬病院	42人	97.7%
-	-	-
管内総計	43人	100.0%

【管外】

病院名	所在市町村	搬送人員	総計に占める割合
1位 北九州総合病院	北九州市	49人	52.7%
2位 国立病院機構小倉医療センター	北九州市	34人	36.6%
管外総計		93人	100.0%

京築広域圏消防本部

救急患者:267人(うち 搬送先 管内0人(0.0%)、管外267人(100.0%))

【管内】

病院名	搬送人員	総計に占める割合
1位	-	-
2位	-	-
3位	-	-
管内総計	0人	0.0%

【管外】

病院名	所在市町村	搬送人員	総計に占める割合
1位 中津市民病院	大分県中津市	133人	49.8%
2位 新行橋病院	行橋市	38人	14.2%
3位 北九州総合病院	北九州市	27人	10.1%
管外総計		267人	100.0%

- 小児に係る京築区域内の医療機関への搬送患者の状況

病院名	搬送患者数	1位					
		1位		2位		3位	
1位 小波瀬病院	118人	行橋市消防本部	41.5%	苅田町消防本部	35.6%	京築広域圏消防本部	22.0%
2位 新行橋病院	56人	京築広域圏消防本部	67.9%	行橋市消防本部	28.6%	苅田町消防本部 田川地区消防本部	1.8%

【参考】行橋市消防本部

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	222人 (87.1%)
2回	21人 (8.2%)
3回	10人 (3.9%)
4回以上	2人 (0.8%)

収容平均所要時間 45.20分

【参考】苅田町消防本部

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	124人 (91.2%)
2回	8人 (5.9%)
3回	3人 (2.2%)
4回以上	1人 (0.7%)

収容平均所要時間 38.75分

【参考】京築広域圏消防本部

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	225人 (84.3%)
2回	29人 (10.9%)
3回	7人 (2.6%)
4回以上	6人 (2.2%)

収容平均所要時間 42.08分

【参考】福岡県平均

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	16,559人 (82.1%)
2回	2,254人 (11.2%)
3回	765人 (3.8%)
4回以上	587人 (2.9%)

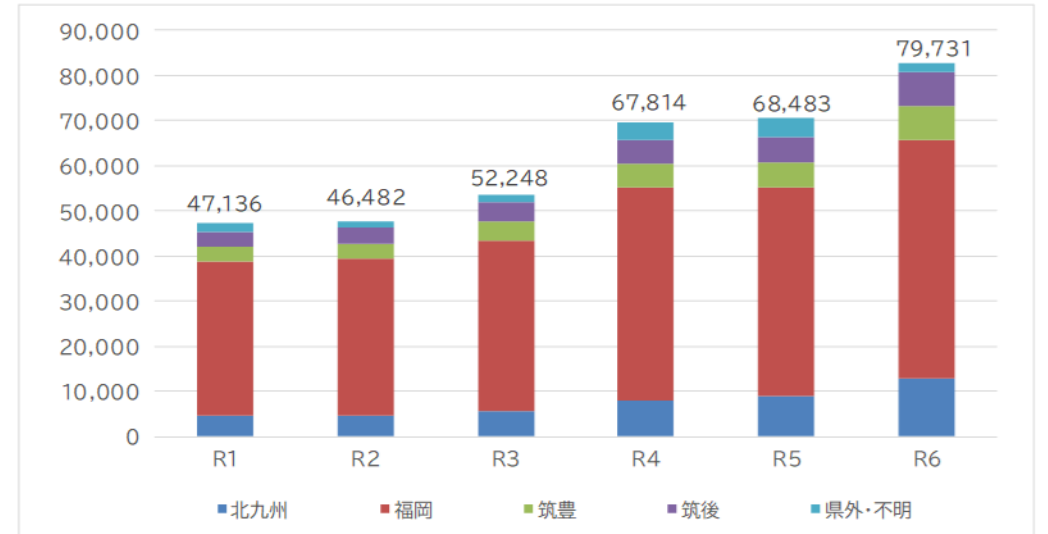
収容平均所要時間 37.55分

21. 救急医療電話相談利用件数

●福岡県救急電話相談事業（#7119）市別利用件数

地域別	R1	R2	R3	R4	R5	R6	増加率 (R1→R6)
北九州	4,716	4,473	5,728	7,984	8,731	12,650	168.2%
福岡	33,951	35,026	37,704	47,051	46,369	53,038	56.2%
筑豊	3,341	2,292	2,739	3,688	3,588	4,413	32.1%
筑後	3,354	3,315	4,134	5,334	5,670	7,526	124.4%
県外・不明	1,774	1,376	1,943	3,757	4,125	2,104	18.6%
福岡県計	47,136	46,482	52,248	67,814	68,483	79,731	69.2%

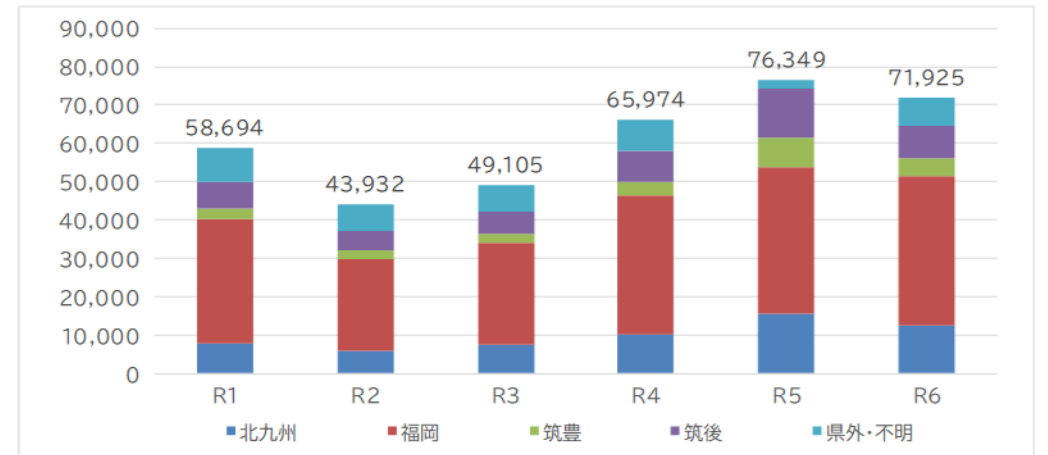
福岡県のR6年度の「#7119」の利用件数は、前年度（R5年度）から1万1,248件増加し、過去最多の7万9,731件となった
 北九州地域のR6年度の「#7119」の利用件数は、前年度（R5年度）から3,919件増加し、過去最多の1万2,650件となった



●福岡県小児救急医療電話相談（#8000）件数

地域別	R1	R2	R3	R4	R5	R6	増加率 (R1→R6)
北九州	7,615	5,869	7,334	10,265	15,449	12,596	65.4%
福岡	32,539	24,063	26,695	36,142	38,283	38,759	19.1%
筑豊	2,843	2,230	2,472	3,546	7,872	4,544	59.8%
筑後	6,919	4,795	5,651	8,177	12,649	8,656	25.1%
県外・不明	8,778	6,975	6,953	7,844	2,096	7,370	-16.0%
福岡県計	58,694	43,932	49,105	65,974	76,349	71,925	22.5%

福岡県の「#8000」の相談件数はR2年度から増加傾向にあり、過去最多は前年度（R5年度）の7万6,349件である
 北九州地域の「#8000」の相談件数はR2年度から増加傾向にあり、過去最多は前年度（R5年度）の1万5,449件で、R6年度は1万2,596件となった



* 地域別の件数は相談者居住地による相談件数

22. MDC(主要診断群分類)別割合(手術あり) (令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」(R5.4月～R6.3月))

Major Diagnostic Category : WHOが制定しているICD-10分類「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」に基づく18の主要診断群のこと

神経系 (01)	: 新行橋病院 (87.2%)、(医) 陽明会小波瀬病院 (7.5%)、(医) けやき会東病院 (5.3%)
眼科系 (02)	: (医) 陽明会小波瀬病院 (92.2%)、新田原聖母病院 (7.8%)
耳鼻科系 (03)	: —
呼吸器系 (04)	: 新行橋病院 (66.0%)、(医) 陽明会小波瀬病院 (34.0%)
循環器系 (05)	: 新行橋病院 (90.8%)、(医) 陽明会小波瀬病院 (9.2%)
消化器系 (06)	: 新行橋病院 (58.8%)、(医) 陽明会小波瀬病院 (39.0%)
筋骨格系 (07)	: (医) 陽明会小波瀬病院 (70.0%)、新行橋病院 (30.0%)
皮膚系 (08)	: 新田原聖母病院 (100.0%)
乳房系 (09)	: (医) 陽明会小波瀬病院 (100.0%)
内分泌系 (10)	: —
腎尿路系 (11)	: 新行橋病院 (85.5%)、(医) 陽明会小波瀬病院 (14.5%)
女性系 (12)	: —
血液系 (13)	: —
新生児系 (14)	: —
小児系 (15)	: —
外傷系 (16)	: 新行橋病院 (60.9%)、(医) 陽明会小波瀬病院 (39.1%)
精神系 (17)	: —
その他 (18)	: 新行橋病院 (100.0%)

22. MDC(主要診断群分類)別割合(手術なし) (令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」(R5.4月～R6.3月))

Major Diagnostic Category : WHOが制定しているICD-10分類「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」に基づく18の主要診断群のこと

神経系 (01)	: 新行橋病院 (63.2%)、(医) けやき会東病院 (19.9%)、(医) 陽明会小波瀬病院 (14.0%)
眼科系 (02)	: —
耳鼻科系 (03)	: 新行橋病院 (39.5%)、新田原聖母病院 (35.6%)、(医) 陽明会小波瀬病院 (20.6%)
呼吸器系 (04)	: 新行橋病院 (48.0%)、(医) 陽明会小波瀬病院 (24.7%)、新田原聖母病院 (11.2%)
循環器系 (05)	: 新行橋病院 (56.5%)、(医) 森和会行橋中央病院 (19.7%)、(医) 陽明会小波瀬病院 (15.1%)
消化器系 (06)	: 新行橋病院 (44.8%)、(医) 陽明会小波瀬病院 (29.9%)、(医) 森和会行橋中央病院 (14.0%)
筋骨格系 (07)	: 新行橋病院 (45.3%)、(医) 陽明会小波瀬病院 (34.6%)、(医) 森和会行橋中央病院 (20.1%)
皮膚系 (08)	: 新行橋病院 (46.3%)、(医) けやき会東病院 (28.4%)、(医) 陽明会小波瀬病院 (25.4%)
乳房系 (09)	: (医) 陽明会小波瀬病院 (100.0%)
内分泌系 (10)	: (医) 森和会行橋中央病院 (40.7%)、新行橋病院 (29.4%)、(医) 陽明会小波瀬病院 (19.3%)
腎尿路系 (11)	: 新行橋病院 (53.0%)、(医) 陽明会小波瀬病院 (32.5%)、(医) 森和会行橋中央病院 (12.0%)
女性系 (12)	: —
血液系 (13)	: 新行橋病院 (78.4%)、(医) 陽明会小波瀬病院 (21.6%)
新生児系 (14)	: —
小児系 (15)	: —
外傷系 (16)	: 新行橋病院 (57.5%)、(医) 陽明会小波瀬病院 (27.8%)、(医) 森和会行橋中央病院 (8.7%)
精神系 (17)	: —
その他 (18)	: 新行橋病院 (69.6%)、(医) 陽明会小波瀬病院 (30.4%)